

## 専門基礎科目(概論)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AC50A01	日本文学概論	1	1.0	1・2	春AB	火4	馬場 美佳	文学を考えるためのいくつかのキーワードを提示し、それを視座に古典的・近代的、および現代的表現を比較しつつ、日本文学の特徴を概説していく。	G科目。実務経験教員。オンライン(オンデマンド型) AC50001の単位取得者は履修できない。
AC50A31	日本研究概論I	1	1.0	1・2	秋AB	木4	長尾 宗典	日本研究とはどのような学問であるのか、過去から現在までの潮流を検討するとともに、日本研究の視点と方法をいくつかのトピックに即して考察する。	G科目。実務経験教員。対面
AC50A41	日本研究概論II	1	1.0	1・2	春AB	木4	山澤 学	日本研究に関する基礎的知識と研究方法について、参考文献や地域資料の講読を通じて、日本史(文化史・社会史)の視点から考察する。日本史における通史を意識しつつ、I.日本をめぐる歴史認識と思想情況(第1~3回)、II.日本史を視る眼(第4~7回)、III.日本研究と「事実」(第8~10回)に関する論点を検討する。	★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(比較文化学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない) AC50151, AC50161の単位取得者は履修できない。対面
AC50A61	中国文学概論	1	1.0	1・2	春AB	火3	稀代 麻也子	中国古典における分類を軸に、中国古典文学について考える。	AC50101の単位取得者は履修できない。対面
AC50A91	アジア研究概論	1	1.0	1・2	秋AB	金3	山本 真, 横山 剛	アジアの社会と文化について、歴史を概説する。地域を東アジア圏、南アジア圏にわけて、時代相の大きな画期に留意しつつ、歴史の展開と地域間の交流を検討する。	★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(比較文化学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない) AC50151, AC50161の単位取得者は履修できない。対面
AC50B01	英語圏文学論I	1	1.0	1・2	秋AB	火6	吉原 ゆかり	16世紀から20世紀までのイギリス文学を生み出した歴史的動因や社会的背景との関連を考察しながら、通時的に講義する。同時に、主要作品のエッセンスを、講読と議論を通して学ばせる。	対面
AC50B11	英語圏文学論II	1	1.0	1・2	春AB	金5	阿部 幸大	アメリカにおける戦争小説・戦争映画の歴史を概観し、戦争物語を人種・ジェンダーといった切り口で分析する方法論を学ぶ。	対面
AC50B21	英語圏文学論III	1	1.0	1・2	秋AB	水3	竹谷 悦子	植民地時代からハーレム・ルネッサンスまでのアフリカ系アメリカ文学史を、テーマやジャンルの変遷に注目しながらその潮流を学ぶ。またディスカッションを通じて、批判的読み・考察力をつける。	対面
AC50B51	ドイツ語圏文学・文化概論	1	1.0	1・2	秋AB	月6	相馬 尚之	ドイツ語圏の文学と社会の状況を手掛かりにしてドイツ文化の特質を考察する。	AC50301の単位取得者は履修できない。対面
AC50B81	フランス語圏文学・文化概論I	1	1.0	1・2	春AB	火3	飯田 賢穂	代表的な作品の紹介をとおしてフランス文学史を通観する。	AC50401の単位取得者は履修できない。対面
AC50C11	欧米研究概論	1	1.0	1・2	春AB	金4	宮崎 和夫	古代・中世ヨーロッパ史の基本となる事項を講義し、知識の定着を図る。	対面 AC50451の単位取得者は履修できない。
AC50E01	文化人類学概論	1	1.0	1・2	春AB	木4	佐本 英規, 木村 周平	文化人類学という学問のもの見方について、世界各地の多様な事例を通じて学ぶ。特に文化とは、人のあり方とは、ということを中心に、環境と生業、親族やジェンダー、経済、グローバル化、人間と非人間などの様々なテーマに関わる内容を扱う。	AC50501の単位取得者は履修できない。対面
AC50E11	民俗学概論	1	1.0	1・2	秋AB	金4	徳丸 亜木	民俗学の理論・方法、民俗学が対象とする事象について基礎的な講義を行う。	AB80321, AC50511の単位取得者は履修できない。実務経験教員。対面
AC50E41	文化地理学概論	1	1.0	1・2	春AB	火3	森本 健弘	文化地理学とは何かについて、およびその基礎概念である文化地域、文化生態、文化景観等について、具体的な事例を交えつつ講義する。	★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(比較文化学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない) 対面 AC50551の単位取得者は履修できない。
AC50F01	テキスト文化学概論	1	1.0	1・2	秋AB	火2	五月女 颯, 三原 鉄也, 吉原 ゆかり, 齋藤 一, 平石 典子	テキスト文化について学ぶ基礎として、さまざまな文学理論・文化批評理論を概観し、広い問題意識を養う。	オンライン(オンデマンド型) AC50601の単位取得者は履修できない。履修希望者が多数の場合、履修者数の制限を行う。
AC50F31	文化創造論概論	1	1.0	1・2	春AB	月6	小川 美登里, 江藤 光紀, 佐藤 嘉幸	音楽、映画、表象芸術などの文化現象を読み解く能力を習得するとともに、現代思想、社会理論、ジェンダー理論を習得することで、国際性を備えた批判的な視野を得ることができる。	AC50651の単位取得者は履修できない。オンライン(オンデマンド型)。オンライン(オンデマンド型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AC50F61	Introduction to One-Planet Relational Studies in Literature and Culture	1	1.0	1・2	春AB	火3	ヘーゼルハウス、ヘラト	This class introduces the basic concepts and methods of "One-Planet Relational Studies": stewardship and mindfulness, critical thinking and problem solution, agency and discourse, relational and planetary approaches to our common world.	英語で授業。 対面(オンライン併用型)
AC50G01	先端化学概論	1	1.0	1・2	秋AB	木3	対馬 美千子, 濱田 真, 山口 恵里子, 廣瀬 浩司, 山口 有梨沙	文化についての観点を論じることができる。近現代ヨーロッパを中心にさまざまな文化現象や文化理論を取り上げながら、文化の多様なあり方について考察する。	対面(オンライン併用型) ★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(比較文化学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない) AC50701の単位取得者は履修できない。
AC50G31	情報文化概論	1	1.0	1・2	春AB	金4	白戸 健一郎	本講義は、比較メディア史的及び歴史社会学的観点から現代メディア社会の成立を概観し、現代メディア社会に対する批判的視座をもつことを目的とする。現代社会におけるメディア環境の成立過程や構造を理解することで、現代メディア社会の可能性と限界について考察する。	AC50761, BB11791の単位取得者は履修できない。 BB11691と同一。 対面
AC50H01	現代思想概論	1	1.0	1・2	秋AB	火6	橋本 康二, 井川 義次, 巖 錫仁, 太田 紘史	東洋と西洋の現代思想を、思想史および哲学的問題という観点から概観する。	現代思想概論IないしII(AC50H11ないしAC50H21)の単位取得者は履修できない。 オンライン(オンデマンド型)
AC50H61	比較宗教概論I	1	1.0	1・2	春AB	木3	平野 貴大	人類の宗教史を通じて多様な宗教現象が形成された。今日まで継続しているものもあれば、過去において途絶えたものもある。宗教現象は多様な要素で構成されるため、宗教へのアプローチも多角的になる。本授業では、宗教の学説史において重要な著作や視点を学びながら、具体的な宗教現象についても知識を深めていく。古代宗教、世界宗教を主に取り上げる。	AC50851の単位取得者は履修できない。 対面
AC50H71	比較宗教概論II	1	1.0	1・3	秋AB	木3	木村 武史	人類の宗教史を通じて多様な宗教現象が形成された。今日まで継続しているものもあれば、過去において途絶えたものもある。宗教現象は多様な要素で構成されるため、宗教へのアプローチも多角的になる。本授業では、宗教の学説史において重要な著作や視点を学びながら、具体的な宗教現象についても知識を深めていく。先住民宗教、アジア・日本の宗教を取り上げる。	★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(比較文化学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない)。 対面 AC50861の単位取得者は履修できない。

専門基礎科目(専門導入基礎演習)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AC51562	日本・アジア領域専門導入基礎演習I	2	1.0	2	秋C	木3, 4	馬場 美佳, 吉森 佳奈子, 稀代 麻也子, 茂野 智大	【日本文学・中国文学コース専門導入基礎演習】日本文学・中国文学のそれぞれの研究の基礎を、資料等に触れつつ学ぶ。	比較文化学類生に限る。 実務経験教員。対面(オンライン併用型)
AC51572	日本・アジア領域専門導入基礎演習II	2	1.0	2	秋C	火3, 4	長尾 宗典, 山澤 学	【日本研究コース専門導入基礎演習】「日本」をフィールドとする地域研究の視点や方法を検討する。全員に発表を求める。	比較文化学類生に限る。シラバスを必ず事前に確認すること。 実務経験教員。対面
AC51582	日本・アジア領域専門導入基礎演習III	2	1.0	2	春AB	金3	山本 真, 横山 剛	【アジア研究コース専門導入基礎演習】アジア地域の文化・社会について研究するために必要な方法を学ぶ。	比較文化学類生に限る。 対面
AC51602	英米・ヨーロッパ領域専門導入基礎演習I	2	1.0	2	春AB	月2	竹谷 悦子, 阿部 幸次, TSAI TSUNG-HAN, 相馬 尚之	【英語圏文学・文化、ドイツ語圏文学・文化コース専門導入基礎演習】「文学と建築・音楽・視覚テキスト・科学」というテーマで演習を行う。	比較文化学類生に限る。 対面
AC51612	英米・ヨーロッパ領域専門導入基礎演習II	2	1.0	2	秋AB	月2	佐藤 千登勢, 加藤 百合, 秋山 学, 馬籠 清子, 津田 博司	【欧米研究コース専門導入基礎演習】欧米諸国の文化を専門的に学んでいく際に必要となる基礎知識を習得する。	比較文化学類生に限る。 対面
AC51642	フィールド文化領域専門導入基礎演習I	2	1.0	2	春AB	火3	木村 周平, 徳丸 亜木, 塩谷 哲史, 佐本 英規, 渡部 圭一	【文化人類学コース専門導入基礎演習】比較文化学類のフィールド文化領域文化人類学コースの入門演習。領域・コースにおける学修の基礎を学びつつ、各自の問題意識を深める。	比較文化学類生に限る。 対面
AC51652	フィールド文化領域専門導入基礎演習II	2	1.0	2	春AB	水2	松井 圭介	【文化地理学コース専門導入基礎演習】文化研究において場所、地域、あるいは空間に着目する面白さを、文化地理学の視角からの演習を通じて発見しつつ、調査・発表・執筆の基礎的な技法を修得する。	比較文化学類生に限る。 対面
AC51662	フィールド文化領域専門導入基礎演習III	2	1.0	2	秋AB	水2	森本 健弘	【文化地理学コース専門導入基礎演習】文化研究において場所、地域、あるいは空間に着目する面白さを、文化地理学の視角からの地域情報の収集、分析・発表、レポート執筆等を通じて発見する。IIIでは特定地域における情報の収集、分析・発表(事前調査)に加え、現地実習(フィールドワーク)を通じて地域調査の基礎演習を行う。	比較文化学類生に限る。 対面
AC51682	表現文化領域専門導入基礎演習	2	1.0	2	春C	集中	小川 美登里, 江藤 光紀, 佐藤 嘉幸	【テキスト文化学、文化創造論、ワンプラネット文学・文化関係学コース専門導入基礎演習】表現文化に関する基本的知識と研究方法を習得する。	比較文化学類生に限る。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AC51722	文化科学領域専門導入基礎演習I	2	1.0	2	春AB	火3	白戸 健一郎, 海後 宗男	【情報文化学コース専門導入基礎演習】 情報文化に関する基本的知識と研究方法を習得する。	比較文化学類生に限る。 対面
AC51732	文化科学領域専門導入基礎演習II	2	1.0	2	秋AB	金3	山口 有梨沙	【先端文化学コース専門導入基礎演習】 先端文化学コースに関する基本的知識と研究方法を学び、各自の問題意識を深める。	比較文化学類生に限る。 対面
AC51752	思想文化領域専門導入基礎演習I	2	1.0	2	春AB	火6	橋本 康二, 井川 義次, 巖 錫仁, 太田 紘史	【現代思想コース専門導入基礎演習】 哲学・思想にかかわる東西の古典教点を講読し、哲学・思想にかかわるテキストを読むことの楽しさ、それに触発されて自らが考えることの楽しさを体感する。	比較文化学類生に限る。 対面
AC51762	思想文化領域専門導入基礎演習II	2	1.0	2	秋AB	火6	木村 武史, 平野 貴大	【比較宗教コース専門導入基礎演習】 比較宗教に関する基本的知識と研究方法を習得する。	比較文化学類生に限る。 対面

専門基礎科目(第1専門外国語)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AC52062	専門英語I-C	2	1.0	3	夏季休業中	集中	TSAI TSUNG-HAN	This course focuses on enhancing students' English reading, writing, speaking, and listening.	履修は、2021年度以前入学者で単位未充足の者に限る。掲示で確認すること。 対面
AC52072	専門英語I-A	2	1.0	2	春AB	木5	TSAI TSUNG-HAN	This course focuses on enhancing students' English reading, writing, speaking, and listening.	対面 英語で授業。 比較文化学類1班対象(班は年度当初に掲示で確認すること)。 原則として2022年度以前開講「専門英語IA」AC52002, AC52022, AC52042の単位修得者は履修できない。
AC52082	専門英語I-B	2	1.0	2	秋AB	木5	竹谷 悦子	The goal of this class is to expand your vocabulary and improve your listening and comprehension skills by listening to lectures, looking, and analyzing artworks, and discussing your opinions about Japanese visual culture.	比較文化学類1班対象。 原則として2022年度以前開講「専門英語IB」AC52012, AC52032, AC52052の単位修得者は履修できない。 英語で授業。 オンライン(同時双方向型)
AC52092	専門英語I-A	2	1.0	2	春AB	木5	セン ラージ ラキ	This course focuses on developing reading and listening skills, while employing a topical focus on the basic concepts of cultural anthropology.	比較文化学類2班対象(班は年度当初に掲示で確認すること)。 原則として2022年度以前開講「専門英語IA」AC52002, AC52022, AC52042の単位修得者は履修できない。 英語で授業。 オンライン(同時双方向型)
AC52102	専門英語I-B	2	1.0	2	秋AB	木5	TSAI TSUNG-HAN	This course focuses on enhancing students' English reading, writing, speaking, and listening.	英語で授業。 対面 比較文化学類2班対象。 原則として2022年度以前開講「専門英語IB」AC52012, AC52032, AC52052の単位修得者は履修できない。
AC52112	専門英語I-A	2	1.0	2	春AB	木5	竹谷 悦子	This course helps you improve your performance and prepare you to take the TOEFL test. We will practice the four components of TOEFL: Reading, listening, writing and speaking.	比較文化学類3班対象(班は年度当初に掲示で確認すること)。 原則として2022年度以前開講「専門英語IA」AC52002, AC52022, AC52042の単位修得者は履修できない。 対面
AC52122	専門英語I-B	2	1.0	2	秋AB	木5	セン ラージ ラキ	This course focuses on developing reading and listening skills, while employing a topical focus on the basic concepts of cultural anthropology.	比較文化学類3班対象。 原則として2022年度以前開講「専門英語IB」AC52012, AC52032, AC52052の単位修得者は履修できない。 英語で授業。 オンライン(同時双方向型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AC53122	専門英語II-1	2	1.0	3	春AB	水1	TSAI TSUNG-HAN	This course focuses on developing students' ability to read, analyse, and evaluate academic publications in English.	英語で授業。 対面 履修数制限25名。比較文化類生に限る。専門英語I AとI Bの既修者もしくは履修中の者に限る。専門英語II-1A~専門英語II-6B(AC53002~AC53112)の単位取得者は履修できない。
AC53132	専門英語II-2	2	1.0	3	秋AB	水1	TSAI TSUNG-HAN	This course focuses on developing students' English academic writing.	英語で授業。 対面 履修数制限25名。比較文化類生に限る。専門英語I AとI Bの既修者もしくは履修中の者に限る。専門英語II-1A~専門英語II-6B(AC53002~AC53112)の単位取得者は履修できない。
AC53142	専門英語II-3	2	1.0	3	夏季休業中	集中	TSAI TSUNG-HAN	This course focuses on developing students' oral and presentation skills through structured discussions on a variety of topics and subjects.	英語で授業。 対面 履修数制限25名。比較文化類生に限る。専門英語I AとI Bの既修者もしくは履修中の者に限る。専門英語II-1A~専門英語II-6B(AC53002~AC53112)の単位取得者は履修できない。
AC53152	専門英語II-4	2	1.0	3	秋C	金3,4	TSAI TSUNG-HAN	This course focuses on further developing students' presentation skills and introducing them to strategies for interviews and debates.	英語で授業。 対面 履修数制限25名。比較文化類生に限る。専門英語I AとI Bの既修者もしくは履修中の者に限る。専門英語II-1A~専門英語II-6B(AC53002~AC53112)の単位取得者は履修できない。
AC53162	専門英語II-5	2	1.0	3	春AB	火5	齋藤 一	【クリエイティブ・トランスレーション】詩・歌詞・広告・掌編小説などを素材として、英語から日本語、日本語から英語へのクリエイティブな翻訳を実習する。ワークショップ形式により授業を行う。	履修数制限25名。比較文化類生に限る。専門英語I AとI Bの既修者もしくは履修中の者に限る。専門英語II-1A~専門英語II-6B(AC53002~AC53112)の単位取得者は履修できない。 対面

専門基礎科目(第2専門外国語)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AB98F42	ロシア語演習I-a	2	1.0	1・2	春AB	木4	アファナシエヴァ ナターリア、加藤 百合	平易なロシア語のテキストを読み、ロシア語で内容全体について要約したり、内容の一部について細かく説明したりする訓練を行う。	ロシア語で授業。 対面(オンライン併用型)
AC54022	専門ドイツ語	2	1.0	2	春AB	月4	相馬 尚之	ドイツ語力(中級)の伸長を目指す。授業は日本語、ドイツ語で行う。ドイツ語圏の文学・文化研究を目指す人はむろん、広くドイツに関心のある学生に履修を強く勧める。	初修外国語でドイツ語を選択した学生に限る。AC54002の単位取得者は履修できない。 対面
AC54122	専門フランス語	2	1.0	2	春AB	木1	デルヴロワ ミカ エル	仏語力(中級)の伸長を目指す。	初修外国語でフランス語を選択した学生に限る。AC54102の単位取得者は履修できない。 対面
AC54322	専門スペイン語	2	1.0	2	春AB	水3	マルティネス オ リベル リサnde ル	スペイン語の日常会話。基礎編。	初修外国語でスペイン語を選択した学生に限る。AC54302の単位取得者は履修できない。 対面
AC54422	専門中国語	2	1.0	2	春AB	水4	余 志清	初級の知識の上に乗って、中国語能力の向上を目指す。特定のテーマについて、中国語により話し、書く練習を行う。	初修外国語で中国語を選択した学生に限る。AC54402の単位取得者は履修できない。 対面
AC54522	専門韓国語	2	1.0	2	春AB	木4	吉原 ゆかり	既習の文法や語彙を確認しつつ、基本的な文型及び日常会話で頻出する表現を用いた会話、聴解、読解、作文の練習を行いコミュニケーション能力を高める。あわせて韓国の社会・文化に関する知識も習得する。	初修外国語で韓国語(朝鮮語)を選択した学生に限る。AC54502の単位取得者は履修できない。 対面
AC54622	ギリシャ語初級A	2	1.0	1-4	春AB	木3	秋山 学	古典ギリシャ語初等文法の概説(1)。	AB75112, AB91432, AC41N02, AC54602の単位取得者は履修できない。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AC54632	ギリシャ語初級B	2	1.0	1 - 4	秋AB	木3	秋山 学	古典ギリシャ語初等文法の概説(2)。	AB75122, AB91442, AC41N12, AC54612の単位取得者は履修できない。 対面
AC54722	ラテン語初級A	2	1.0	1 - 4	春AB	金3	秋山 学	古典ラテン語初等文法の概説(1)。	AB75132, AB91452, AC41P02, AC54702の単位取得者は履修できない。 対面
AC54732	ラテン語初級B	2	1.0	1 - 4	秋AB	金3	秋山 学	古典ラテン語初等文法の概説(2)。	AB75142, AB91462, AC41P12, AC54712の単位取得者は履修できない。 対面
AC54822	インド古典語初級A	2	1.0	1 - 4	春AB	金5	横山 剛	サンスクリットの初等文法を学ぶ。	AB63632, AB91412, AC41M02, AC54802の単位取得者は履修できない。 対面
AC54832	インド古典語初級B	2	1.0	1 - 4	秋AB	金5	横山 剛	サンスクリットの初等文法を学ぶ(継続)。	AB63642, AB91422, AC41M12, AC54812の単位取得者は履修できない。 対面
AC54922	アラビア語初級A	2	1.0	1 - 4	春AB	木4	平野 貴大	アラビア語はおよそ1400年前に使われていた言語でありながら、現在までその文法と語彙がほとんど変化していない言語である。本授業ではアラビア語の初級文法を学ぶ。春学期では動詞の活用までの単元を中心に学ぶ。	対面
AC54932	アラビア語初級B	2	1.0	1 - 4	秋AB	木4	平野 貴大	アラビア語はおよそ1400年前に使われていた言語でありながら、現在までその文法と語彙がほとんど変化していない言語である。本授業では、アラビア語の初級文法を学ぶ。秋学期では動詞の活用を中心に学ぶ。	対面
AC54942	アラビア語中級A	2	1.0	2 - 4	春AB	木6	平野 貴大	本授業ではアラビア語で書かれたイスラームに関する小児用教科書や絵本を購読する。毎回全受講生が訳文を発表し、それを全員で検証していく。	対面
AC54952	アラビア語中級B	2	1.0	2 - 4	秋AB	木6	平野 貴大	本授業ではアラビア語で書かれたイスラームに関する絵本を購読する。毎回全受講生が訳文を発表し、それを全員で検証していく。	対面
AC55622	ギリシャ語中級A	2	1.0	2 - 4	春AB	木2	秋山 学	古典ギリシャ語の演習(1)。韻文・散文献の読解演習。	ギリシャ語初級AとBの既修者に限る。AC41N22, AC55602の単位取得者は履修できない。 対面
AC55632	ギリシャ語中級B	2	1.0	2 - 4	秋AB	木2	秋山 学	古典ギリシャ語の演習(2)。散文献の読解演習(前期の継続)。	ギリシャ語初級AとBの既修者に限る。AC41N32, AC55612の単位取得者は履修できない。 対面
AC55722	ラテン語中級A	2	1.0	2 - 4	春AB	月4	秋山 学	古典ラテン語の演習(1)。韻文および散文を教材に読解演習する。	ラテン語初級AとBの既修者に限る。AC41P22, AC55702の単位取得者は履修できない。 対面
AC55732	ラテン語中級B	2	1.0	2 - 4	秋AB	月4	秋山 学	古典ラテン語の演習(2)。韻文・散文を中心にした読解演習(継続)。	ラテン語初級AとBの既修者に限る。AC41P32, AC55712の単位取得者は履修できない。 対面
AC55822	インド古典語中級A	2	1.0	2 - 4	春AB	水3	横山 剛	古代インドの叙事詩『マハーバーラタ』内の挿話のひとつである『ナラ王物語』を用いて、サンスクリットの講読演習を行う。	インド古典語初級AとBの既修者もしくは履修中の者に限る。AC41M22, AC55802の単位取得者は履修できない。 対面
AC55832	インド古典語中級B	2	1.0	2 - 4	秋AB	水3	横山 剛	古典サンスクリット寓話『ヒトバデーシャ』を用いて、サンスクリットの講読演習を行う。	インド古典語初級AとBの既修者もしくは履修中の者に限る。AC41M32, AC55812の単位取得者は履修できない。 対面

専門基礎科目(比較文化研究)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AC56011	日本・アジア領域比較文化研究	1	1.0	1	春BC	木3	馬場 美佳, 横山 剛, 山澤 学, 吉森 佳奈子, 茂野 智大, 稀代 麻也子, 山本 真, 長尾 宗典	比較文化学類の日本・アジア領域における文化研究のエッセンスを学修し、文化研究に対する履修者各自の問題意識を深める。	専門導入科目(事前登録対象)。実務経験教員。オンライン(オンデマンド型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AC56021	英米・ヨーロッパ領域比較文化研究	1	1.0	1	秋AB	金4	佐藤 千登勢, 加藤百合, 竹谷 悦子, 秋山 学, 宮崎 和夫, 津田 博司, 阿部 幸次, 馬籠 清子, 相馬 尚之	比較文化学類の英米・ヨーロッパ領域における文化研究のエッセンスを学修し、文化研究に対する履修者各自の問題意識を深める。	専門導入科目(事前登録対象)。オンライン(オンデマンド型)
AC56031	フィールド文化領域比較文化研究	1	1.0	1	春A	火1,2	塩谷 哲史, 森本健弘, 木村 周平, 徳丸 亜木, 松井圭介, 久保 倫子, 佐本 英規, 渡部 圭一	比較文化学類のフィールド文化領域における文化研究のエッセンスを学修し、文化研究に対する履修者各自の問題意識を深める。	専門導入科目(事前登録対象)。実務経験教員。オンライン(オンデマンド型)
AC56041	表現文化領域比較文化研究	1	1.0	1	秋AB	金6	小川 美登里, 齋藤一, 江藤 光紀, 平石 典子, 吉原 ゆかり, 三原 鉄也, ヘーゼルハウス, ヘラト, 佐藤 嘉幸, 五月女 颯	文化理論、社会理論、比較文学の手法、ポストコロニアル批評、音楽の社会的役割、エコクリティークの手法などに注目しながら、文化や表現、現代的課題についてオムニバス形式で様々な視点から考える。	専門導入科目(事前登録対象)。オンライン(オンデマンド型)
AC56051	文化科学領域比較文化研究	1	1.0	1	秋AB	木5	濱田 真, 廣瀬 浩司, 山口 恵里子, 海後 宗男, 対馬美千子, 白戸 健一郎, 山口 有梨沙	比較文化研究について、先端文化の観点と情報文化の観点から、代表的な研究を紹介しながら考察する。	専門導入科目(事前登録対象)。オンライン(オンデマンド型)
AC56061	思想文化領域比較文化研究	1	1.0	1	春B	火5,6	平野 貴大, 井川 義次, 巖 錦仁, 木村 武史, 太田 紘史	比較文化学類の思想文化領域における文化研究のエッセンスを学修し、文化研究に対する履修者各自の問題意識を深める。 現代哲学、倫理学、東洋思想の諸分野のトピックを概説しながら、現代社会との接点を考える(現代思想コース)。聖典の宗教と口承伝統文化の宗教、また社会的宗教と他界的宗教を対比して、複眼的な宗教理解をめざす(比較宗教コース)。	専門導入科目(事前登録対象)。オンライン(オンデマンド型)

専門科目(日本・アジア領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AC60A01	日本文学講読1	1	1.0	2・3	春AB	月5	茂野 智大	日本上代文学の作品とその特質について学ぶ。上代ならではの表現や発想、ならびにそれらの背景となる時代性や地域性についての講義を行う。	対面 AC60001の単位取得者は履修できない。
AC60A11	日本文学講読2	1	1.0	2・3				日本上代文学の中で特定のテーマに着目し、その史的展開を学ぶ。上代ならではの表現や発想、ならびにそれらの背景となる時代性や地域性についての講義を行う。	西暦偶数年度開講。 2025年度開講せず。 対面 AC60011の単位取得者は履修できない。
AC60A21	日本文学講読3	1	1.0	2・3	春AB	金5	吉森 佳奈子	平安時代の散文作品をよむ。あわせて写本のよみにも習熟する。	対面 AC60021の単位取得者は履修できない。
AC60A31	日本文学講読4	1	1.0	2・3	秋AB	金3	吉森 佳奈子	平安時代の散文作品をよむ。	対面 AC60031の単位取得者は履修できない。
AC60A41	日本文学講読5	1	1.0	2・3	春AB	火6	馬場 美佳	日本近代文学のうち主に明治期の文学について学ぶ。対象とする作品についての語釈・注釈・研究史にかんする講義を行う。	西暦奇数年度開講。 実務経験教員。対面 AC60041の単位取得者は履修できない。
AC60A51	日本文学講読6	1	1.0	2・3				日本近代文学のうち主に大正期の文学について学ぶ。対象とする作品についての語釈・注釈・研究史にかんする講義を行う。	西暦奇数年度開講。 2025年度開講せず。 実務経験教員。対面 AC60051の単位取得者は履修できない。
AC60A61	日本文学講読7	1	1.0	2・3				日本現代文学のうち主に昭和期の文学について学ぶ。対象とする作品についての語釈・注釈・研究史にかんする講義を行い、その上で学生自身による疑問点の提示、討論を行う。	西暦偶数年度開講。 実務経験教員。対面 AC60061の単位取得者は履修できない。
AC60A71	日本文学講読8	1	1.0	2・3				鎌倉期の説話集を読み解くための、さまざまな方法や知識を学ぶ。	西暦偶数年度開講。 対面 AC60071の単位取得者は履修できない。
AC60B02	日本文学演習1	2	1.0	3・4	春AB	金4	茂野 智大	上代の韻文の分析を通して、上代文学を読むための基礎的な方法論を学ぶ。	対面 AC60102の単位取得者は履修できない。
AC60B12	日本文学演習2	2	1.0	3・4	秋AB	金4	茂野 智大	上代の韻文および散文の分析を通して、上代文学研究の方法論を学ぶ。	対面 AC60112の単位取得者は履修できない。
AC60B22	日本文学演習3	2	1.0	3・4				物語文学をとりあげる。江戸時代末期までの注釈、写本の状況から作品を分析する。	西暦偶数年度開講。 対面 AC60122の単位取得者は履修できない。
AC60B32	日本文学演習4	2	1.0	3・4	春AB	金3	吉森 佳奈子	文学史、注釈史の視点から物語をよむ。注釈研究の問題のたて方を学ぶ。	西暦奇数年度開講。 対面 AC60132の単位取得者は履修できない。
AC60B42	日本文学演習5	2	1.0	3・4				日本近代文学について、受講者自身で調査したい作品を選び、それについて基礎調査・評価史報告・作品解釈の全3回の発表を行ってもらう。	西暦奇数年度開講。 2025年度開講せず。 実務経験教員。対面 AC60142の単位取得者は履修できない。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AC60B52	日本文学演習6	2	1.0	3・4				中世の説話文学研究の基礎的な訓練を行う。説話を読むために必要な方法を具体的に経験し、説話を通して得られる様々な情報他について学ぶ。	西暦奇数年度開講。2025年度開講せず。実務経験教員。対面AC60152の単位取得者は履修できない。
AC60B62	日本文学演習7	2	1.0	3・4				現代の文学作品を、複数の観点から分析していく。一作品につき、演習担当者による語釈・注釈の発表と、グループごとのディスカッションを行っていく。	西暦偶数年度開講。実務経験教員。対面AC60162の単位取得者は履修できない。
AC60B72	日本文学演習8	2	1.0	3・4				受講者自身で調査したい作品を選び、それについて基礎調査・評価報告・作品解釈の全3回の発表を行ってもらう。	西暦偶数年度開講。実務経験教員。対面AC60172の単位取得者は履修できない。
AC60C01	日本文学史	1	1.0	2・3	秋AB	金5	吉森 佳奈子	日本文学史概説。	対面
AC60C11	日本文学特講1	1	1.0	2 - 4				日本文学のうち、特定のテーマに沿って作品を取り上げ、講義を行う。	西暦偶数年度開講。2025年度開講せず。対面
AC60C21	日本文学特講2	1	1.0	2 - 4	秋AB	月5	茂野 智大	日本文学と地域性について学ぶ。特定の土地にかかわる文学作品を取り上げ、その土地が持つ名や性質がどのような作品を生み、またそれらがその土地に何をもたらしてきたのかを考える。	西暦奇数年度開講。実務経験教員。対面
AC60E01	日本研究講義	1	1.0	2 - 4				日本文化について、とくに伝統文化について、おもに文献資料により、その実態について考察していく。	西暦偶数年度開講。実務経験教員。対面
AC60E11	日本研究特論	1	1.0	2 - 4	春AB	火2	山澤 学	日本における地域史研究の視点と方法を、具体的な事例から考察する。具体的には、I. 地域史の思想、II. ムラの歴史・民俗・景観、III. 地域史史料としての農書、以上3つを論点とする。	西暦奇数年度開講。実務経験教員。対面
AC60E21	日本研究I	1	1.0	2 - 4	秋AB	火2	山澤 学	近世日本地域史研究の視点と方法を、古文書の読解を通して考察する。本学に保管される旧田村家文書（武蔵国橋本郡梶ヶ谷村名主史料）を使用する。	西暦奇数年度開講。実務経験教員。対面
AC60E31	日本研究II	1	1.0	2 - 4	秋AB	月5	長尾 宗典	日本研究に関わる各種資料の活用方法について、近代以後の活字メディアを中心に考察する。デジタル情報資源の批判的取り扱いについても習得する。	西暦奇数年度開講。実務経験教員。対面
AC60E41	日本研究III	1	1.0	2 - 4	春AB	金4	石塚 修	おもに茶の湯文化を中心に日本研究について講義する。	実務経験教員。対面2026年度以降は西暦偶数年度開講予定。
AC60E51	日本研究IV	1	1.0	2 - 4				日本研究の視点と方法について、人物研究・地域研究に関わる論点を取り上げて考察する。デジタル情報資源の批判的取り扱いについても習得する。	西暦偶数年度開講。実務経験教員。対面
AC60E71	日本の政治と社会	1	1.0	2 - 4				日本の政治と社会について、民衆の視点から、具体的な事例をもとに論じる。とくに近代日本の出版検閲をめぐる問題に着目し、権力と言論の関係について検討する。	西暦偶数年度開講。実務経験教員。対面
AC60E81	日本の生活と文化	1	1.0	2 - 4	春AB	月5	長尾 宗典	日本の生活と文化について、民衆の視点から、具体的な事例をもとに論じる。明治後期に地方で発行された雑誌類に着目し、活字文化と地域社会の接点を考察する。	西暦奇数年度開講。実務経験教員。対面
AC60E91	日本の宗教と文化	1	1.0	2 - 4				日本の宗教・信仰と文化について、民衆の視点から、具体的な事例をもとに論じる。日本における山岳信仰、とくに出羽三山修験道の地域社会への普及・浸透の歴史的展開を、湯殿山木食行者鐵門海を事例とし、検討する。	西暦偶数年度開講。実務経験教員。対面
AC60F02	日本研究演習I	2	1.0	2 - 4	春AB	火3	山澤 学	近世日本社会に関する文献・資料を講読し、基礎的知識を養いつつ、日本文化とは何かを考える。	西暦奇数年度開講。対面
AC60F12	日本研究演習II	2	1.0	2 - 4	秋AB	火3	山澤 学	近世日本社会に関する文献・資料を講読し、基礎的知識を前提として、意見を交わしながら、日本文化とは何かを考える。	西暦奇数年度開講。対面
AC60F22	日本研究演習III	2	1.0	2 - 4				日本の社会・文化に関する文献を講読し、基礎的知識を養いつつ、日本文化とは何かを考える。	西暦偶数年度開講。対面
AC60F32	日本研究演習IV	2	1.0	2 - 4				日本の社会・文化に関する文献・資料を講読し、基礎的知識を前提として、意見を交わしながら、日本文化とは何かを考える。	西暦偶数年度開講。対面
AC60F42	日本研究演習V	2	1.0	2 - 4	春AB	月4	長尾 宗典	近代日本の生活と文化に関する文献・資料の輪読を通して、基礎的知識を身に付け、近代日本の文化について批判的に再検討する。	西暦奇数年度開講。対面
AC60F52	日本研究演習VI	2	1.0	2 - 4	秋AB	月4	長尾 宗典	近代日本の生活と文化に関する文献・資料の輪読を通して、課題発見の力を養い、近代日本の文化について批判的に再検討する。	西暦奇数年度開講。対面
AC60F62	日本研究演習VII	2	1.0	2 - 4				近代日本の政治と社会に関する文献・資料の輪読を通して、基礎的知識を身に付け、近代日本の文化について批判的に再検討する。	西暦偶数年度開講。対面
AC60F72	日本研究演習VIII	2	1.0	2 - 4				近代日本の政治と社会に関する文献・資料の輪読を通して、課題発見の力を養い、近代日本の文化について批判的に再検討する。	西暦偶数年度開講。対面
AC60F82	日本研究演習IX	2	1.0	2 - 4	秋AB	金4	石塚 修	日本文化について、とくに伝統文化について、おもに文献資料により、その実態について考察していく。和本リテラシーについても習得する。	西暦奇数年度開講。対面
AC60F92	日本研究演習X	2	1.0	2 - 4				日本文化、とくに伝統文化について、おもに文献資料により、その実態について考察していく。	西暦偶数年度開講。対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AC60G03	日本研究実験実習Ⅰ	3	2.0	2-4	秋ABC 秋C	水6 集中	長尾 宗典、山澤学、石塚 修	歴史的な場および史料保存機関等の見学、聞き取り調査、資料収集等を通じ、地域社会研究の方法を修得する。	西暦奇数年度開講。 対面
AC60G13	日本研究実験実習Ⅱ	3	2.0	2-4				歴史的な場および史料保存機関等の見学、聞き取り調査、資料収集等を通じ、地域文化研究の方法を修得する。	西暦偶数年度開講。 対面
AC60G23	日本研究実験実習Ⅲ	3	1.0	2-4	秋C	集中	山澤 学	歴史的な場および史料保存機関等の見学、聞き取り調査、資料収集等を通じ、日本の思想と社会に関する研究方法を考察する。	原則として日本研究演習ⅠまたはⅡの単位修得者に限る。 西暦奇数年度開講。 対面
AC60G33	日本研究実験実習Ⅳ	3	1.0	2-4				歴史的な場および史料保存機関等の見学、聞き取り調査、資料収集等を通じ、日本の宗教と文化に関する研究方法を考察する。	原則として日本研究演習Ⅲの単位修得者に限る。 西暦偶数年度開講。 対面
AC60G43	日本研究実験実習Ⅴ	3	1.0	2-4	春C	集中	長尾 宗典	歴史的な場および史料保存機関等の見学、聞き取り調査、資料収集等を通じ、日本の生活と文化に関する研究方法を考察する。	原則として日本研究演習Ⅴ～Ⅷのうち最低1単位以上を修得済または履修中の者に限る。 西暦奇数年度開講。 対面
AC60G53	日本研究実験実習Ⅵ	3	1.0	2-4				歴史的な場および史料保存機関等の見学、聞き取り調査、資料収集等を通じ、日本の政治と社会に関する研究方法を考察する。	原則として日本研究演習Ⅴ～Ⅷのうち最低1単位以上を修得済または履修中の者に限る。 西暦偶数年度開講。 対面
AC60H01	中国文学史	1	1.0	2-3	秋AB	火3	稀代 麻也子	唐詩が花開くまでの詩文の伝統と革新について考える。	中国文学史Ⅰ・Ⅱ(AC60501、AC60511)の単位取得者は履修できない。 対面
AC60H11	中国文学講読Ⅰ	1	1.0	2-3	春AB	木4	稀代 麻也子	混迷の時代を生きた詩人の作品を読む。	AC60521の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面
AC60H21	中国文学講読Ⅱ	1	1.0	2-3				激動の時代に生まれた作品を読む。	AC60531の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 対面
AC60J02	中国文学演習Ⅰ	2	1.0	3-4	秋AB	木4	稀代 麻也子	作品を実際に読みながら中国古典の基礎を身につけていく。	AC60562の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面
AC60J12	中国文学演習Ⅱ	2	1.0	3-4				自分で読みながら中国古典を読むための基礎を確認していく。	AC60572の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 対面
AC60J42	中国文学講読演習Ⅰ	2	1.0	1-4	春C	木5,6	稀代 麻也子	中国古典読解の基礎を確認し、自分で作品を読む技術を身につける。	西暦奇数年度開講。 対面
AC60J52	中国文学講読演習Ⅱ	2	1.0	1-4				古典読解の基礎を確認し、作品について調べ、考え、まとめる力を身につける。	西暦偶数年度開講。 対面
AC60K01	アジアの民族と文化Ⅰ	1	1.0	2-3				現代中国の宗教と民族を歴史的に検討する	アジアの民族と文化Ⅰ(AC60701)の単位取得者は履修できない。 2025年度開講せず。 対面
AC60K11	アジアの民族と文化Ⅱ	1	1.0	2-3				中国の宗教問題、宗教史にかかわるテーマを事例に則して検討する。	アジアの民族と文化Ⅱ(AC60711)の単位取得者は履修できない。 2025年度開講せず。 対面
AC60L02	アジア文化論演習Ⅰ	2	1.0	2-3				アジアの少数民族であるチベット民族の歴史・宗教・文化と、現代の少数民族問題、難民問題としてチベット民族が直面する問題を考察する。	AC60742の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 2025年度開講せず。 対面
AC60L12	アジア文化論演習Ⅱ	2	1.0	2-3				チベット語初級1 文字・発音と基礎文法を学ぶ。構文の理解と簡単な会話を習得する。	AC60752の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 2025年度開講せず。 対面
AC60L22	アジア文化論演習Ⅲ	2	1.0	2-3				チベット語初級2 構文と読解を学ぶ。辞書の使い方を習得し、物語などを実際に読む。	AC60762の単位取得者は履修できない。チベット語初級1の既習者あるいはチベット語の文字と発音の習得者に限る。 西暦偶数年度開講。 対面
AC60L32	アジア文化論演習Ⅳ	2	1.0	2-3				アジアにおける仏教を人の生き方として考察する。ブッダの人としての生き方、修行僧の生活、現代日本で修行する人の生き方を探り、仏教の現代的意義を考える。	AC60772の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AC60L62	アジアの政治と社会演習I	2	1.0	2・3	春AB	金4	山本 真	中国、台湾、華僑に関わる政治史、社会文化史のテキストを講読する。	アジアの政治と社会演習I (AC60782)の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面
AC60L72	アジアの政治と社会演習II	2	1.0	2・3	秋AB	金4	山本 真	アジアの政治、社会・文化に関するテキストを講読し、履修者と議論する。演習Iとは異なるテキストを読む。	アジアの政治と社会演習II (AC60792)の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面
AC60L82	アジアの政治と社会演習III	2	1.0	2・3				中国、東アジアに関わる諸問題についてテキスト講読を通じて考察する。テキストはアジアの政治と社会演習Iとは異なるものなので、継続履修に差し障りはない。	アジアの政治と社会演習III (AC60802)の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 対面
AC60L92	アジアの政治と社会演習IV	2	1.0	2・3				ユーラシア東方における遊牧民の動向と中国との関係に関するテキストを講読し、それらに関連する諸問題について考察する。	アジアの政治と社会演習IV (AC60812)の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 2025年度開講せず。 対面
AC60M22	アジアの民族と文化演習I	2	1.0	2・3				中国の宗教史に関する漢籍、写本等の原典および論文を講読する。	アジアの民族と文化演習I (AC60822)の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 2025年度開講せず。 対面
AC60M32	アジアの民族と文化演習II	2	1.0	2・3				中国の宗教文化に関する漢籍、写本等の原典および論文を講読する。	アジアの民族と文化演習II (AC60832)の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 2025年度開講せず。 対面
AC60M42	アジアの民族と文化演習III	2	1.0	2・3				中国の民族史に関する漢籍、写本等の原典および論文を講読する。	東洋史文献学VIIa (AB73272)ないしアジアの民族と文化演習III (AC60842)の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 対面
AC60M52	アジアの民族と文化演習IV	2	1.0	2・3				中国の民族文化に関する漢籍、写本等の原典および論文を講読する。	東洋史文献学VIIb (AB73282)ないしアジアの民族と文化演習IV (AC60852)の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 対面
AC60N01	日本・アジア領域特論I	1	1.0	2 - 4				内外における様々な研究成果の紹介を通して、日本・アジア領域におけるトピックスについて講義する。なお授業内容の詳細については、シラバスを参照すること。	IとIIの両方を履修することができる。 2025年度開講せず。 対面
AC60N11	日本・アジア領域特論II	1	1.0	2 - 4				内外における様々な研究成果の紹介を通して、日本・アジア領域におけるトピックスについて講義する。なお授業内容の詳細については、シラバスを参照すること。	IとIIの両方を履修することができる。 2025年度開講せず。 対面
AC60P02	アジア文化資料研究演習I	2	1.0	2・3	春AB	水2	横山 剛	インド仏教復興運動を通じて、インドが抱える不可触民等の問題について学ぶとともに、釈迦によって創始され、インドにおいて既に滅んだ仏教とこの数世紀に復興された仏教との連続と不連続について考察する。	西暦奇数年度開講。 対面
AC60P12	アジア文化資料研究演習II	2	1.0	2・3	秋AB	水2	横山 剛	欧米の言語で書かれた仏教の解説書を講読することで、仏教の基本的な教理を学ぶとともに、インド学仏教の成立期における西洋人の仏教理解について学ぶ。	西暦奇数年度開講。 対面
AC60P22	アジア文化資料研究演習III	2	1.0	2・3				インド仏教において大きな勢力を誇った説一切有部の教理は仏教の基礎学としての性格を有する。本授業では、存在論、因果論、宇宙論など、有部教学の要点を学ぶことで、仏教の根幹をなす主要な教理について学ぶ。また、有部説を前提としながら、大乘思想などのその後の思想的展開についても学ぶ。	西暦偶数年度開講。 対面
AC60P32	アジア文化資料研究演習IV	2	1.0	2・3				インドで成立した仏教はその後アジア各地に伝えられることになる。本授業では、中国やチベットといった諸地域への仏教の伝播史について学ぶ。また、それらの地域に仏教が伝えられる際に、仏典が翻いに訳され、大蔵経というかたちで整理されるに至ったかを学ぶ。	西暦偶数年度開講。 対面

専門科目(英米・ヨーロッパ領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AC61A01	英語圏文学・文化研究I	1	1.0	2・3				シェイクスピア演習。シェイクスピア劇の読解の基本的スキルを習得させる。	2025年度開講せず。 対面
AC61A11	英語圏文学・文化研究II	1	1.0	2・3	秋AB	金5	阿部 幸大	冷戦期のアメリカにおける戦争文学・戦争映画を鑑賞し、歴史的・理論的な背景をふまえたうえで戦争物語を批判的に読解する方法論を学ぶ。	対面。対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AC61A21	英語圏文学・文化研究 III	1	1.0	2・3	春AB	木3	竹谷 悦子	英語圏のフェミニズム批評理論の基本文献を読み、フェミニズムの歴史とそのなかにおけるブラック・フェミニズムの潮流を理解する。さらに毎回、英語による発表ならびにディスカッションをとおして発信力と批判的思考力を養う。	対面
AC61A31	英語圏文学・文化研究 IV	1	1.0	3・4	春AB	水2	TSAI TSUNG-HAN	This seminar pays exclusive attention to Virginia Woolf's Mrs Dalloway.	英語で授業。 対面 AC61121の単位取得者は履修できない。
AC61A41	英語圏文学・文化研究 V	1	1.0	3・4	秋AB	水2	TSAI TSUNG-HAN	This course focuses on Oscar Wilde's Lady Windermere's Fan and Arthur Miller's The Crucible.	英語で授業。 対面 AC61141の単位取得者は履修できない。
AC61B01	イギリス文化特講 I	1	1.0	2・3				現代イギリス文化の形成に大きな影響を与えている、ブリテン・イングランド・連合王国(UK)の歴史について、著名な建築建造物を通して考察する。ヨーロッパ史の知識は必須である。	西暦奇数年度開講。 2025年度開講せず。 対面 AC61191の単位取得者は履修できない。
AC61B11	イギリス文化特講 II	1	1.0	2 - 4				19世紀イギリス社会における女性の教育、労働などについての議論を考察する。	西暦偶数年度開講。 対面 AC61201の単位取得者は履修できない。
AC61B21	アメリカ文化特講 I	1	1.0	2・3				アメリカの女性文化 ロマンティックな友情とレスビアニズムの潮流、フェミニズムとの交差について考察する。	西暦奇数年度開講。 2025年度開講せず。 対面 AC61151の単位取得者は履修できない。
AC61B41	カナダ文化特講 I	1	1.0	2・3				カナダを代表する女性作家 L. M. Montgomeryの作品とその背景となった社会・文化状況について学び、カナダ文化に関する理解を深める。	2025年度開講せず。 対面 AC61211の単位取得者は履修できない。
AC61B51	カナダ文化特講 II	1	1.0	2・3				This course explores the diversity of Canadian cinema, focusing on non-mainstream and non-commercial productions. Our goal is to develop a fuller understanding of Canadian society and culture by looking at its artistic productions.	英語で授業。 2025年度開講せず。 AC61231の単位取得者は履修できない。 シラバスは英語版を見てください。
AC61B61	ジェンダー研究特講	1	1.0	3・4	春AB	木1	TSAI TSUNG-HAN	This class explores the representations of women from classical civilizations to the twenty-first century and considers critical issues surrounding gender and representation.	英語で授業。 対面 ジェンダー研究特講 (AC61221) ないし Media and Gender (BE22741) の単位取得者は履修できない。
AC61C02	英語圏文学・文化演習 I	2	1.0	3・4				This course introduces students to a selection of English and American poems and various interpretative approaches to analysing their significance.	西暦偶数年度開講。 英語で授業。 2025年度開講せず。 対面 AC61042の単位取得者は履修できない。 シラバスは英語版を見てください。
AC61C22	英語圏文学・文化演習 III	2	1.0	2 - 4	秋AB	木2	TSAI TSUNG-HAN	This course studies twentieth-century British and American short stories. Students will read, discuss, and analyse a selection of texts and will learn to adapt different interpretative strategies to comment on their significance.	西暦奇数年度開講。 英語で授業。 対面 AC61062の単位取得者は履修できない。
AC61E02	ドイツ語圏文学・文化演習 I	2	1.0	2 - 4	春AB	火3	茅野 大樹	主にドイツ語で書かれた文学・文化に関わるテキストの読解を通して、ドイツ語圏の思想・歴史・文化・社会を批判的に論じるための基礎的な知識を身につける。演習形式で実施することにより、参加者同士で知識や問題意識を共有し、相互に議論を深める。授業は原則日本語で行うが、必要に応じて英語やドイツ語で対応する。	AC61302の単位取得者は履修できない。 対面
AC61E12	ドイツ語圏文学・文化演習 II	2	1.0	2 - 4	秋AB	火3	茅野 大樹	主にドイツ語で書かれた文学・文化に関わるテキストの読解を通して、ドイツ語圏の思想・歴史・文化・社会を批判的に論じるための基礎的な知識を身につける。演習形式で実施することにより、参加者同士で知識や問題意識を共有し、相互に議論を深める。授業は原則日本語で行うが、必要に応じて英語やドイツ語で対応する。	AC61312の単位取得者は履修できない。 対面
AC61E61	ドイツ語圏文学・文化論 I	1	1.0	2 - 4	春AB	月5	相馬 尚之	必要に応じて1年次に学んだドイツ語文法の基礎を復習しながら、簡単なドイツ語のテキストを読み進め、基本的なドイツ語力の向上を図る。	AC61361の単位取得者は履修できない。 対面
AC61E71	ドイツ語圏文学・文化論 II	1	1.0	2 - 4	秋AB	月4	相馬 尚之	ドイツ文学だけでなくドイツ語圏の文化や社会についてのなるべく多様なドイツ語の文章に接して、ドイツ語力を伸ばしながら、問題意識を深める。	AC61371の単位取得者は履修できない。 対面
AC61F02	ドイツ語翻訳演習 I	2	1.0	2 - 4	春AB	水3	相馬 尚之	これまでに学んだドイツ語の文法力や語彙力を駆使し、高めつつ、翻訳技術を身につける。	AB97412, AC61422の単位取得者は履修できない。 対面
AC61F12	ドイツ語翻訳演習 II	2	1.0	2 - 4				ドイツ語のさまざまな種類のテキストを読み、翻訳する練習を行う。解釈とともに修辞、文体に応じた日本語文の作り方を検討する。	AB97422, AC61432の単位取得者は履修できない。 2025年度開講せず。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AC61F22	ドイツ語翻訳演習III	2	1.0	2-4				実際に多くの日独・独日の翻訳をやらせてもらいつつ、ドイツ語能力を高め、翻訳技術を身につける。	AB97432, AC61442の単位取得者は履修できない。 2025年度開講せず。
AC61F32	ドイツ語翻訳演習IV	2	1.0	2-4				ドイツ語能力を高め、翻訳技術を身につける。(特に、文体およびレトリックに着目する。)(4)	AB97442, AC61452の単位取得者は履修できない。 2025年度開講せず。 対面
AC61G01	フランス語圏文学・文化講読I	1	1.0	2-4	秋AB	火3	飯田 賢穂	フランス語圏文学に関するテキストを読んで考察する。	2025年度以降は西暦奇数年度開講。AC61501の単位取得者は履修できない。 2025年度より3年おきに開講。 対面
AC61G11	フランス語圏文学・文化講読II	1	1.0	2-4				フランス語圏文学に関するテキストを精読し、考察する。	2025年度以降は西暦奇数年度開講。AC61511の単位取得者は履修できない。 2027年度より3年おきに開講。 2025年度開講せず。 対面
AC61G21	フランス語圏文学・文化講読III	1	1.0	2-4				フランス語圏文学に関するテキストを読んで考察する。	西暦偶数年度開講。AC61521の単位取得者は履修できない。 2026年度より3年おきに開講。 2025年度開講せず。 対面
AC61G31	フランス語圏文学・文化講読IV	1	1.0	2-4				フランス語圏文学に関するテキストを精読し、考察する。	西暦偶数年度開講。AC61531の単位取得者は履修できない。 2028年度より3年おきに開講。 2025年度開講せず。 対面
AC61J01	欧米文化論I	1	1.0	2・3	春AB	火3	宮崎 和夫	大航海時代にスペインやポルトガルの支配下に入った諸地域と他地域との交流と衝突の歴史を通じて、欧米が世界と接続され始めた時代を考察する。	対面 欧米文化論I (AC61601)の単位取得者は履修できない。
AC61J11	欧米文化論II	1	1.0	2・3	秋AB	火3	宮崎 和夫	「情熱の国」スペインというロマンス語圏の中でも特異なイメージが形成される要因となった近世スペインの文化と社会の諸相および国際政治における位置づけの変遷を、他の欧米諸国とりわけフランスとの関係のなかで論じる。	対面 欧米文化論II (AC61611) ないしヨーロッパ・アメリカ史特講Ia (AB75611)の単位取得者は履修できない。
AC61J21	欧米文化論III	1	1.0	2・3	春AB	火6	加藤 百合	ロシア現代文化(ロシア語中級)	西暦奇数年度開講。 対面 欧米文化論III (AC61621) ないしロシア言語文化特講a (AB98211)の単位取得者は履修できない。
AC61J31	欧米文化論IV	1	1.0	2・3	秋AB	火6	加藤 百合	ロシア近代文化(ロシア語中級)	西暦奇数年度開講。 対面 欧米文化論IV (AC61631) ないしロシア言語文化特講b (AB98221)の単位取得者は履修できない。
AC61J41	欧米文化論V	1	1.0	2・3	春AB	火2	津田 博司	近代イギリス帝国史の講義	対面 欧米文化論V (AC61641) ないしヨーロッパ・アメリカ史特講IIa (AB75631)の単位取得者は履修できない。
AC61J51	欧米文化論VI	1	1.0	2・3	秋AB	火2	津田 博司	現代イギリス帝国史の講義	対面 欧米文化論VI (AC61651) ないしヨーロッパ・アメリカ史特講IIb (AB75641)の単位取得者は履修できない。
AC61J61	欧米文化論VII	1	1.0	2・3	春AB	金3	佐藤 千登勢	植民地時代から南北戦争までのアメリカ合衆国の歴史を概説する。	対面 欧米文化論VII (AC61661) ないしヨーロッパ・アメリカ史特講IIIa (AB75651)の単位取得者は履修できない。
AC61J71	欧米文化論VIII	1	1.0	2・3	秋AB	金3	佐藤 千登勢	南北戦争後から20世紀後半までのアメリカ合衆国の歴史を概説する。	対面 欧米文化論VIII (AC61671) ないしヨーロッパ・アメリカ史特講IIIb (AB75661)の単位取得者は履修できない。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AC61J81	欧米文化論IX	1	1.0	2・3	春AB	月3	秋山 学	西洋史理解の基礎となる西洋古典古代ギリシア文化史を解説し、歴史理解を深める。	対面 欧米文化論IX (AC61681) ないしヨーロッパ・アメリカ史特講IVa (AB75671)の単位取得者は履修できない。
AC61J91	欧米文化論X	1	1.0	2・3	秋AB	月3	秋山 学	西洋史理解の基礎となる西洋古典古代ローマ文化史を解説し、歴史理解を深める。	対面 欧米文化論X (AC61691) ないしヨーロッパ・アメリカ史特講IVb (AB75681)の単位取得者は履修できない。
AC61K01	欧米文化論XI	1	1.0	2・3	春C	木3,4	馬籠 清子	モダニズム期(1920年代まで)の欧米文化・各種芸術を分析する。	対面
AC61K11	欧米文化論XII	1	1.0	2・3	秋C	木3,4	馬籠 清子	モダニズム期(1930年代以降)の欧米文化・各種芸術を分析する。	対面
AC61L02	欧米文化論演習I	2	1.0	3・4	春AB	水3	宮崎 和夫	「太陽の沈まぬ国」であった頃のスペイン(カトリック帝国)支配下の諸地域や、他地域との関係の歴史を論じた英語またはスペイン語文献を講読する。	対面 欧米文化論演習I (AC61702) ないしヨーロッパ・アメリカ史文献学VIa (AB75332)の単位取得者は履修できない。
AC61L12	欧米文化論演習II	2	1.0	3・4	秋AB	水3	宮崎 和夫	「情熱の国」スペインの、ロマンス語圏の中でも特異なイメージの形成に関連する、英語またはスペイン語で書かれた史料や文献を講読する。	対面 欧米文化論演習II (AC61712) ないしヨーロッパ・アメリカ史文献学VIb (AB75342)の単位取得者は履修できない。
AC61L22	欧米文化論演習III	2	1.0	3・4				ロシア文学講読	西暦偶数年度開講。 対面 欧米文化論演習III (AC61722) ないしロシア語演習IIa (AB98532)の単位取得者は履修できない。
AC61L32	欧米文化論演習IV	2	1.0	3・4				ロシア文学史講読	西暦偶数年度開講。 対面 欧米文化論演習IV (AC61732) ないしロシア語演習IIb (AB98542)の単位取得者は履修できない。
AC61L42	欧米文化論演習V	2	1.0	3・4	春AB	木3	津田 博司	近代イギリス帝国史の英語文献講読	対面 欧米文化論演習V (AC61742) ないしヨーロッパ・アメリカ史文献学VIIa (AB75352)の単位取得者は履修できない。
AC61L52	欧米文化論演習VI	2	1.0	3・4	秋AB	木3	津田 博司	現代イギリス帝国史の英語文献講読	対面 欧米文化論演習VI (AC61752) ないしヨーロッパ・アメリカ史文献学VIIb (AB75362)の単位取得者は履修できない。
AC61L62	欧米文化論演習VII	2	1.0	3・4	春AB	金4	佐藤 千登勢	アメリカ合衆国の移民史に関する英語文献を講読する。	対面 欧米文化論演習VII (AC61762) ないしヨーロッパ・アメリカ史文献学VIIa (AB75372)の単位取得者は履修できない。
AC61L72	欧米文化論演習VIII	2	1.0	3・4	秋AB	金4	佐藤 千登勢	第二次世界大戦とアメリカに関する英語文献を講読する。	対面 欧米文化論演習VIII (AC61772) ないしヨーロッパ・アメリカ史文献学VIIb (AB75382)の単位取得者は履修できない。
AC61L82	欧米文化論演習IX	2	1.0	3・4	春AB	木5	秋山 学	まずイタリア語の初級文法を学ぶ。ラテン語あるいはフランス語を学んでいれば比較的容易であるので、速習して旧新約聖書の学習に移る。新約のギリシア語は別途開講されているが、旧約のヘブライ語が足りないので、概要を速習し、原典をひも解いて、旧約の精神性に触れることを目指す。なおイタリア語の学習の際に、ダンテ『神曲』の概要も学びたい。	対面 欧米文化論演習IX (AC61782) ないしヨーロッパ・アメリカ史文献学IXa (AB75412)の単位取得者は履修できない。
AC61L92	欧米文化論演習X	2	1.0	3・4	秋AB	木5	秋山 学	イタリア語文法の速習は終了と思われるので、旧約聖書原典をヘブライ語で読み進む。春学期の継続を基本とする。余裕があれば、一般のヨーロッパ語とは全く構造の異なるハンガリー語訳を対照させ、併せて旧約の総合的理解を目指す。また、ダンテ『神曲』の併読も継続する。	対面 欧米文化論X (AC61691) ないしヨーロッパ・アメリカ史特講IVb (AB75681)の単位取得者は履修できない。
AC61M02	欧米文化論演習XI	2	1.0	3・4	春AB	木4	馬籠 清子	モダニズム期(1920年代まで)の欧米社会と各種芸術に関する英語文献を講読する。	対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AC61M12	欧米文化論演習XII	2	1.0	3・4	秋AB	木4	馬籠 清子	モダニズム期(1930年代以降)の欧米社会と各種芸術に関する英語文献を購読する。	対面
AC61N01	英米・ヨーロッパ領域特講I	1	1.0	1-4	秋C	木4,6	秋山 学	古典ギリシア語文法の既修者を対象に、リーディングの演習を行う(韻文か散文)。ギリシア語上級に相当するので、初級の未修者には履修は難しい。	対面
AC61N11	英米・ヨーロッパ領域特講II	1	1.0	1-4	秋C	木2,3	秋山 学	古典ラテン語文法の既修者を対象に、リーディングの演習を行う(韻文か散文)。ラテン語上級に相当するので、初級の未修者には履修は難しい。	対面
AC61N21	英米・ヨーロッパ領域特講III	1	1.0	2-4	春C	木4,6	秋山 学	古典ギリシア語文法の補講。文法が終わってれば、リーディングの演習に入る(韻文か散文)。	対面
AC61N31	英米・ヨーロッパ領域特講IV	1	1.0	2-4	春C	木2,3	秋山 学	古典ラテン語文法の補講。文法が終わってれば、リーディングの演習に入る(韻文か散文)。	対面
AC61N42	英米・ヨーロッパ領域特講V	2	1.0	2-4				様々な分野のスペイン語文献を講読する。スペイン語で書かれた資料・文献から、人文・社会科学の卒論研究に必要な情報を読み取れるようになることを目指す。	西暦偶数年度開講。 対面
AC61N52	英米・ヨーロッパ領域特講VI	2	1.0	2-4	春AB	金6	宮崎 和夫	様々な分野のスペイン語文献を講読する。スペイン語で書かれた資料・文献を日本語に翻訳・要約して、人文・社会科学の卒論で利用できるようにすることを目指す。	西暦奇数年度開講。 西暦偶数年度開講。 対面
AC61N61	英米・ヨーロッパ領域特論I	1	1.0	2-4				内外における様々な研究成果の紹介を通して、英米・ヨーロッパ領域におけるトピックスについて講義する。なお授業内容の詳細については、シラバスを参照すること。	IとIIの両方を履修することができる。西暦偶数年度開講。 西暦偶数年度開講。 対面
AC61N71	英米・ヨーロッパ領域特論II	1	1.0	2-4	春AB	月6	秋山 学	内外における様々な研究成果の紹介を通して、英米・ヨーロッパ領域におけるトピックスについて講義する。なお授業内容の詳細については、シラバスを参照すること。	IとIIの両方を履修することができる。西暦奇数年度開講。 西暦奇数年度開講。 対面
AC61N81	英米・ヨーロッパ領域特論III	1	1.0	2-4				古代ギリシャから今日に至るまで西洋思想を形成してきた最も重要な哲学理論のいくつかを概説する。	西暦偶数年度開講。 英語で授業。 2025年度開講せず。 対面

専門科目(フィールド文化領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AC62A01	文化人類学研究I	1	1.0	2-4	春AB	火6	木村 周平	古典を含む民族誌的事例研究に基づいて、人類学の主要テーマについて掘り下げて考える。	文化人類学研究I(AC62001)ないし文化人類学講義III(AB85151)の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面
AC62A11	文化人類学研究II	1	1.0	2-4				現代社会における民族誌的事例研究に基づいて、人類学の主要テーマについて掘り下げて考える。	文化人類学研究II(AC62011)ないし文化人類学講義IV(AB85161)の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 対面
AC62A21	文化人類学研究III	1	1.0	2-4				現代社会における民族誌的事例研究を取り上げ、人類学の主要テーマがそれぞれの状況でどのように現れ、変化しているかを考える。	西暦奇数年度開講。 2025年度開講せず。 対面
AC62A42	文化人類学研究演習I	2	1.0	2-4	秋AB	火6	木村 周平	現代における人類学の動向を民族誌的著作の読解を通して習得する。	AB85452、AC62042の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面
AC62A52	文化人類学研究演習II	2	1.0	2-4				現代における人類学の理論的方向性を、古典と現代的な著作の読解を通して学ぶ。	AB85462、AC62052の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 対面
AC62A62	文化人類学研究演習III	2	1.0	2-4	春AB	月5	塩谷 哲史、海野 典子	中東・中央アジアに関する民族誌的事例研究に基づいて、人類学の主要テーマについて掘り下げて考える。	AC62062の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面
AC62A72	文化人類学研究演習IV	2	1.0	2-4				人類学における中東・中央アジア研究の理論的方向性を近年刊行された論文の読解を通して学ぶ。	AC62072の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 対面
AC62A82	文化人類学研究演習V	2	1.0	2-4				現代における人類学の研究・実践の仕方について、民族誌的著作の読解を通して学ぶ	西暦偶数年度開講。 対面
AC62A92	文化人類学研究演習VI	2	1.0	2-4	春C	月5 月6	塩谷 哲史	中東・中央アジアに関する民族誌的著作を、隣接諸分野(歴史学、社会学)の研究成果を踏まえながら読み解き、人類学の主要テーマについて掘り下げて考える。	西暦奇数年度開講。 対面
AC62D02	文化人類学研究演習VII	2	1.0	2-4	春AB	金3	佐本 英規	芸術・芸能・音楽に関する古典を含む人類学的・民族誌的著作の読解を通して、それらを対象とする人類学と隣接諸分野の研究動向について議論する。	西暦奇数年度開講。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AC62D12	文化人類学研究演習VIII	2	1.0	2-4				芸術・芸能・音楽に関する最新の人類学的・民族誌的著作の読解を通じ、それらを対象とする人類学と隣接諸分野について議論する。	西暦偶数年度開講。対面
AC62D22	文化人類学研究演習IX	2	1.0	2-4				芸術・芸能・音楽に関する人類学的・民族誌的著作の読解を通じ、それらを対象とする人類学と隣接諸分野について議論を深める。	西暦偶数年度開講。2025年度開講せず。対面
AC62B01	民俗学研究I	1	1.0	2-4	春AB	金2	渡部 圭一	民俗学が研究の対象として来たテーマについて掘り下げて考える。	民俗学研究I (AC62021) ないし民俗文化論 (AB84131) の単位取得者は履修できない。西暦奇数年度開講。実務経験教員。対面
AC62B11	民俗学研究II	1	1.0	2-4				民俗学の主要な理論と、今日的な研究課題について掘り下げて考える。	民俗学研究II (AC62031) ないし民俗学方法論 (AB84141) の単位取得者は履修できない。西暦偶数年度開講。実務経験教員。対面
AC62B42	民俗学研究演習I	2	1.0	2-4	秋AB	金2	徳丸 亜木、渡部 圭一	民俗学の主要な研究テーマについて文献を講読する事を通して考える。	AB84432, AC62082の単位取得者は履修できない。西暦奇数年度開講。対面
AC62B52	民俗学研究演習II	2	1.0	2-4				民俗学の研究動向について文献を講読する事を通して考える。	AB84442, AC62092の単位取得者は履修できない。西暦偶数年度開講。対面
AC62B82	民俗学研究演習V	2	1.0	2-4				民俗学および民俗学の方法論から参加者各々がテーマを選び演習形式で授業を行う。	西暦奇数年度開講。2025年度開講せず。対面
AC62B92	民俗学研究演習VI	2	1.0	2-4				民俗学および民俗学の方法論から参加者各々がテーマを選び演習形式で授業を行う。	西暦偶数年度開講。対面
AC62C01	中東・中央アジア文化研究I	1	1.0	2-4	秋AB	月2	塩谷 哲史	中東・中央アジアの文化/歴史を講義する。	中東・中央アジア文化研究I (AC62121) ないし東洋史特講IVb (AB73581) の単位取得者は履修できない。西暦奇数年度開講。対面
AC62C11	中東・中央アジア文化研究II	1	1.0	2-4				中東・中央アジア現代社会の諸問題を講義する。	中東・中央アジア文化研究II (AC62131) ないし東洋史特講IVa (AB73571) の単位取得者は履修できない。西暦偶数年度開講。対面
AC62C21	中東・中央アジア文化研究III	1	1.0	2-4				中東・中央アジアを対象とした代表的な民族誌的著作の内容について講義する。	西暦偶数年度開講。対面
AC62C31	東南アジア・オセアニア文化研究I	1	1.0	2-4	秋AB	金3	佐本 英規	東南アジアまたはオセアニアに関する古典を含む民族誌的研究を学び、当該地域を対象とする人類学的研究の諸テーマについて考察する。	西暦奇数年度開講。対面
AC62C41	東南アジア・オセアニア文化研究II	1	1.0	2-4				東南アジアまたはオセアニアに関する最新の民族誌的研究を学び、当該地域を対象とする人類学的研究の諸テーマについて考察する。	西暦偶数年度開講。対面
AC62C51	東南アジア・オセアニア文化研究III	1	1.0	2-4				東南アジアまたはオセアニアに関する人類学的・民族誌的研究を学び、当該地域を対象とする人類学的研究の諸テーマについて考察する。	西暦奇数年度開講。2025年度開講せず。対面
AC62E23	文化人類学実習I	3	1.0	2-4	春ABC 春C	木6 集中	木村 周平, 佐本 英規, 徳丸 亜木, 塩谷 哲史, 渡部 圭一	文化人類学のフィールドワークの方法を学び、学生各人の問題関心を探り、それに基づいてフィールドワークを実践し、成果をレポートとしてまとめる。	西暦奇数年度開講。対面
AC62E33	文化人類学実習II	3	1.0	2-4				文化人類学的なフィールドワークの方法を学び、実践し、成果をレポートとしてまとめる。	西暦偶数年度開講。対面
AC62E43	民俗学実習I	3	1.0	2-4	春ABC	随時	徳丸 亜木, 渡部 圭一, 木村 周平, 佐本 英規, 塩谷 哲史	特定地域でフィールドワークを実践し、成果をレポートとしてまとめる事により、民俗学的なフィールドワークの手法を習得する。	西暦奇数年度開講。7/31-8/4 対面
AC62E53	民俗学実習II	3	1.0	2-4				特定地域でフィールドワークを実践し、成果をレポートとしてまとめる事により、民俗学的なフィールドワークの手法を習得する。	西暦偶数年度開講。対面
AC62F01	比較文化地理学I	1	1.0	2・3	秋C	火3,4	久保 倫子	文化地理学の近年の研究動向について講義する。特に、近年の都市変化に関する理論について、欧米および日本の都市における実態を提示しながら説明する。	AC62201の単位取得者は履修できない。西暦奇数年度開講。対面
AC62F11	比較文化地理学II	1	1.0	2・3				「場所の政治学」に関する文化地理学の近年の研究動向について講義する。	AC62211の単位取得者は履修できない。西暦偶数年度開講。対面
AC62F21	地域地理学I	1	1.0	2・3				日本の自然と文化について解説する。	地域地理学I (AC6221) ないし世界地誌I (EE21711) の単位取得者は履修できない。西暦偶数年度開講。対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AC62F31	地域地理学I	1	1.0	2・3	春AB	木6	久保 倫子	北アメリカの性格を形成している、自然環境、文化要素、人口、都市、農村、産業などをとりあげ説明するとともに、具体的な地域の特徴を説明することを通じて、北米の地域性について考える。	地域地理学I (AC62231) ないし世界地誌II (EE21721)の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 G科目 対面
AC62F42	比較文化地理学演習I	2	1.0	2・3	春C	火3,4	松井 圭介	文化地理学、人文地理学に関する英語文献の講読およびディスカッションを通して、地理学に関わる基本的な考え方を身につける。	AC62292の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面
AC62F52	比較文化地理学演習II	2	1.0	2・3				文化地理学、人文地理学に関する文献(英文文献含む)の講読およびディスカッションを通して、地理学に関わる基本的な考え方を身につける。	AC62302の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 対面
AC62F62	文化地理学研究演習I	2	1.0	3	春AB	金2	松井 圭介, 森本健弘, 久保 倫子	国内外の研究論文の講読、研究事例の理解によって、文化地理学的な研究の手法と考え方、実際の調査方法などを修得する。3年次生を対象とし、関心テーマについての日本語論文の紹介を行う。	AC62372の単位取得者は履修できない。 対面
AC62F72	文化地理学研究演習II	2	1.0	3	秋AB	金2	松井 圭介, 森本健弘, 久保 倫子	国内外の研究論文の講読、研究事例の理解によって、文化地理学的な研究の手法と考え方、実際の調査方法などを修得する。3年次生を対象とし、自分の関心テーマについての英語論文の紹介および研究構想の発表を行う。	AC62382の単位取得者は履修できない。 対面
AC62F82	文化地理学研究演習III	2	1.0	3	秋C	金2集中	久保 倫子, 森本健弘, 松井 圭介	文化地理学的な研究の手法と考え方、実際の地域調査・観察方法などを修得するため、論文講読、調査計画設計、予備的調査の立案などを実施する。	文化地理学研究演習I (AC62F62)、文化地理学研究演習II (AC62F72)を履修済みであることが望ましい。 AC62372, AC62382の単位取得者は履修できない。 対面
AC62F92	文化地理学研究演習IV	2	1.0	4	春AB	金2	森本 健弘, 松井 圭介, 久保 倫子	国内外の研究論文の講読、研究事例の理解によって、文化地理学的な研究の手法と考え方、実際の調査方法などを修得する。4年次生を対象とし、研究の計画・準備・調査実施にかかわる発表と討論を行う。	AC62392の単位取得者は履修できない。 対面
AC62G03	文化地理学実験実習I	3	1.0	3	春AB	水3,4	森本 健弘, 久保 倫子	文化地理学的な地域研究のための基礎的技法の習得を目的とする。Iでは、地形図の利用方法、空中写真の判読、都市および農村における景観観察・調査の技法、地図作成などについて実習を行う。	文化地理学実験実習II (AC62G13)を併せて履修することが望ましい。 AC62253, EE21533の単位取得者は履修できない。 対面
AC62G13	文化地理学実験実習II	3	1.0	3	秋AB	水3,4	森本 健弘, 久保 倫子	文化地理学的な地域研究のための基礎的技法の習得を目的とする。IIでは、統計処理と地図作成、地理的情報解析(GIS)の技法などについて実習を行う。	文化地理学実験実習I (AC62G03)を履修済みであることが望ましい。 AC62263, EE21543の単位取得者は履修できない。 対面
AC62G23	文化地理学野外実習I	3	2.0	2・3				地域の課題に関わるテーマを設定して文献や統計資料などを利用した事前調査を行い、複数の地域を訪れての現地観察・比較を実施することを通じて、文化地理学的観察・調査・分析の方法ならびにレポートの書き方等を修得する。9月9日-13日の間に5日間の現地実習を行う予定。	AC62273の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 対面
AC62G33	文化地理学野外実習II	3	2.0	2・3	秋AB 秋B	金1 集中	久保 倫子	特定地域を対象にテーマを設定し、文献、統計資料・地図類に基づく事前調査を経て現地での地域調査(フィールドワーク)を実施することにより、文化地理学的事象の観察方法、調査方法やその解析方法、論文の書き方などを修得する。	AC62283の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面 事前指導(金1授業)は教室にて対面で実施、現地実習は対面に実施予定
AC62H01	フィールド文化領域特論I	1	1.0	2-4				内外における様々な研究成果の紹介を通して、フィールド文化領域におけるトピックスについて講義する。なお授業内容の詳細については、シラバスを参照すること。	IとIIの両方を履修することができる。 2025年度開講せず。
AC62H11	フィールド文化領域特論II	1	1.0	2-4				内外における様々な研究成果の紹介を通して、フィールド文化領域におけるトピックスについて講義する。なお授業内容の詳細については、シラバスを参照すること。	IとIIの両方を履修することができる。 2025年度開講せず。

専門科目(表現文化領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AC63A01	テキスト文化学研究I	1	1.0	2・3	秋AB	火3	三原 鉄也	マンガにおけるメディア展開や多言語展開などを題材に、多様な物語の語り継ぎ手法について考察する。	対面 AC63001の単位取得者は履修できない。
AC63A11	テキスト文化学研究II	1	1.0	2・3	春AB	金4	五月女 颯	世界の様々なテキストを具体例として、エコクリティシズムを概念的に学ぶ。	対面 AC63011の単位取得者は履修できない。
AC63A21	テキスト文化学研究III	1	1.0	3・4	春AB	火3	齋藤 一	英語圏の古典的小説(『ロビンソン・クルーソー』、『ジェイン・エア』、『嵐が丘』、『間の奥』など)や詩(『荒地』など)、そしてその派生作品について考察する。日本語訳を主に使用し、原典も適宜参照する。	AC63021の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AC63A31	テキスト文化学研究IV	1	1.0	3・4				英語圏の古典的な小説(『ロビンソン・クルーソー』、『蠅の王』、『渚にて』など)や詩(『荒地』など)、そしてその派生作品について考察する。日本語訳を主に使用し、原典も適宜参照する。	AC63031の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 対面
AC63A61	比較文学研究	1	1.0	2・3	春AB	火6	平石 典子	比較文学の手法の概説を行い、比較文学研究が文学・文化・社会の「読み」にどのような視野をもたらすかについて考察する。	オンライン(同時双方向型) AC63041の単位取得者は履修できない。
AC63B02	テキスト文化学演習I	2	1.0	2・3	春AB	水2	吉原 ゆかり	英語もしくは日本語を用いながら、多言語・多文化地域の文化を学ぶ	対面 AC63062の単位取得者は履修できない。
AC63B12	テキスト文化学演習II	2	1.0	2・3	秋AB	水2	吉原 ゆかり	指定されたテキスト(文学、映画、漫画などを含む)について、大学生にふさわしい学術論文を作成するための、アカデミック・ライティング・スキル入門編	対面 AC63072の単位取得者は履修できない。
AC63B22	テキスト文化学演習III	2	1.0	3・4	秋AB	木2	五月女 颯	エコクリティシズムなどの論点からテキストを論じるための一連の方法論を演習する。	対面 AC63082の単位取得者は履修できない。
AC63B32	テキスト文化学演習IV	2	1.0	3・4	秋AB	月4	齋藤 一	日本語で出版された最新の文学・文化理論、関連する作品などを取り上げ、演習形式で解説・議論をおこなう。	AC63092の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面
AC63B42	テキスト文化学演習V	2	1.0	3・4	秋C	月3,4	吉原 ゆかり	日本語もしくは英語を用いながら、多言語・多文化地域の文学・文化を学ぶ。	AC63102の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面
AC63B62	テキスト文化学演習VII	2	1.0	3・4	秋C	月5,6	齋藤 一	日本語で出版された最新の文学・文化理論、関連する作品などを取り上げ、演習形式で解説・議論をおこなう。	西暦奇数年度開講。 対面
AC63C02	比較文学演習I	2	1.0	3・4	春AB	木3	平石 典子	比較文学の手法を用いた文学作品の分析を、演習形式で学ぶ。	オンライン(同時双方向型) AC63112の単位取得者は履修できない。
AC63C12	比較文学演習II	2	1.0	3・4	秋AB	木3	平石 典子	複数言語のテキスト分析を通じた文学演習。	オンライン(同時双方向型) AC63122の単位取得者は履修できない。
AC63C22	表現文化企画演習	2	1.0	3・4	春C	木3,4	三原 鉄也	マンガを主たる題材として、物語表現を二次的・多次的に広め伝える企画を設計・提案する演習を行う。演習は実際のマンガ作品やその制作の事例に基づいたワークショップ・コンペ形式にて行う。	対面
AC63C42	文化学データ演習I	2	1.0	2-4	春AB	月4	三原 鉄也	文化・芸術領域を対象にしたデジタルコンテンツを探索・取得し、活用するための基礎的な技術について学ぶ。デジタルアーカイブを利用した資料の調査・探索やキュレーションコンテンツを作成する演習を行う。	AC63C32の単位取得者は履修できない。 対面
AC63C52	文化学データ演習II	2	1.0	3・4	春C	火3,4	三原 鉄也	文化・芸術領域を対象にしたデジタルデータを処理し、活用するための基礎的な技術について学ぶ。文学・文化・芸術分野の実際のデータを用いて調査・分析する演習を行う。	AC63C32の単位取得者は履修できない。 対面
AC63C62	テキスト文化学研究演習	2	1.0	3・4	秋C	木4,5	三原 鉄也, 吉原 ゆかり, 齋藤 一, 平石 典子, 五月女 颯	大学生にふさわしい学術論文を作成するための、コース所属の学生と教員による合同授業。	対面
AC63C72	表現文化企画実践演習	2	2.0	3・4	春C	集中	三原 鉄也	マンガを主たる題材として、物語表現を二次的・多次的に広め伝える企画を設計・提案する演習を行う。演習は実際のマンガ作品やその制作の事例に基づいたワークショップ・コンペ形式にて行う。	AC63C22の単位取得者は履修できない。 対面
AC63E01	文化創造論研究I	1	1.0	2-4				<社会理論研究> 社会理論に関する近現代思想の重要テキストを読む。	AC63301の単位取得者は履修できない。 2026年度より2年おきに開講。 2025年度開講せず。 対面
AC63E11	文化創造論研究II	1	1.0	2-4				<エコクリティーク> 「森」、「文明」、「想像力」をテーマに、自然と人間、非人間の文節について考える。	AC63311の単位取得者は履修できない。 2026年度より2年おきに開講。 2025年度開講せず。 対面
AC63E21	文化創造論研究III	1	1.0	2-4				<エコロジーと文化> 自然と文化、芸術表現の切り結び点について、エコロジー、哲学、文学、エッセー、芸術作品を元に考察する。	AC63321の単位取得者は履修できない。 2024年度より2年おきに開講。 対面
AC63E31	文化創造論研究IV	1	1.0	2-4				<社会理論研究> 社会理論に関する近現代思想の重要テキストを読む。今年度は、ミシェル・フーコー『性の歴史』2、3巻を読解し、フーコーのセクシュアリティ理論の意義について議論する。文化創造論研究Vと連続して授業を行うので、必ず両方の授業を履修すること。	AC63331の単位取得者は履修できない 2024年度より2年おきに開講。 対面
AC63E41	文化創造論研究V	1	1.0	2-4				<社会理論研究>	AC63341の単位取得者は履修できない。 2024年度より2年おきに開講。 2025年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AC63E51	文化創造論研究VI	1	1.0	2-4				〈表象芸術分析〉明治期以降から戦後に至るカリカチュア、マンガなどの歴史を、時代背景と絡めながらメディアとの関連、表現様式や視覚的な素材の分析を主としてたどる。	AC63351の単位取得者は履修できない。 2026年度より2年おきに開講。 2025年度開講せず。 対面
AC63F02	文化創造論演習I	2	1.0	2-4				〈文化批評〉自然と人間の関係性について、文学や芸術作品をとおして考える「エコクリティーク」の手法を学ぶ。	AC63362の単位取得者は履修できない。 2026年度より2年おきに開講。 2025年度開講せず。 対面
AC63F32	文化創造論演習IV	2	1.0	2-4	春AB	金6	小川 美登里	文化現象における音楽とイメージの関係について考える。AC63H52「音楽文化論演習I」と連続で行う授業のため、必ず両方の授業を受講すること。一方のみの受講は認められない。	AC63392の単位取得者は履修できない。 2025年度より2年おきに開講。 対面
AC63F42	文化創造論演習V	2	1.0	2-4	秋AB	金4	佐藤 嘉幸	〈社会理論研究〉社会理論に関する近現代の重要テキストを読む。今年度は、ミシェル・フーコーのセクシュアリティ理論を講読し、セクシュアリティ理論の基礎を習得する。文化創造論演習VIと連続で授業を行うので、必ず両方の授業を履修すること。	AC63402の単位取得者は履修できない。 2025年度より2年おきに開講。 対面
AC63F52	文化創造論演習VI	2	1.0	2-4	秋AB	金5	佐藤 嘉幸	〈社会理論研究〉社会理論に関する近現代の重要テキストを読む。今年度は、ミシェル・フーコーのセクシュアリティ理論を講読し、セクシュアリティ理論の基礎を習得する。文化創造論演習Vと連続で授業を行うので、必ず両方の授業を履修すること。	AC63412の単位取得者は履修できない。 2025年度より2年おきに開講。 対面
AC63G01	表象芸術論研究I	1	1.0	2-4				万博の歴史をそれぞれの時代の美意識・価値観を踏まえながらたどる。	AC63421の単位取得者は履修できない。 2026年度より2年おきに開講。 2025年度開講せず。 対面
AC63G11	表象芸術論研究II	1	1.0	2-4				20世紀につながる芸術の展開と芸術思潮を論じる。Iを受ける形で、万博を通じた芸術の流れを追う。	AC63431の単位取得者は履修できない。 2024年度より2年おきに開講。 2025年度開講せず。 対面
AC63G52	表象芸術論演習I	2	1.0	2-4	秋AB	水2	江藤 光紀	〈表現行為論〉芸術の表現行為に着目して、その実践的意味について研究する。	AC63442の単位取得者は履修できない。 2025年度より2年おきに開講。 対面
AC63G62	表象芸術論演習II	2	1.0	2-4				〈表現行為論〉芸術の表現行為に着目して、その実践的意味について研究する。美術館におけるキュレーションが、展示作品に新たな価値や意味を付与する創造的行為であることを具体的に検証する。	AC63452の単位取得者は履修できない。 2026年度より2年おきに開講。 2025年度開講せず。 対面
AC63H01	音楽文化論研究I	1	1.0	3-4				社会や文化、芸術における音楽の役割について考える。	AC63461の単位取得者は履修できない。 2024年度より2年おきに開講。 対面
AC63H11	音楽文化論研究II	1	1.0	2-4				音楽と社会との関係について考察する。	AC63471の単位取得者は履修できない。 2024年度より2年おきに開講。 対面
AC63H52	音楽文化論演習I	2	1.0	2-4	春AB	金5	小川 美登里	音楽と文化、社会の関係を考える。AC63F32「文化創造論演習IV」と連続で行う授業のため、必ず両方の授業を受講すること。一方のみの受講は認められない。	AC63482の単位取得者は履修できない。 2025年度より2年おきに開講。 対面
AC63H62	音楽文化論演習II	2	1.0	2-4	春AB	水2	江藤 光紀	音楽と文学と社会との関係について考察する。	AC63492の単位取得者は履修できない。 2025年度より2年おきに開講。 対面
AC63J01	One-Planet Relational Studies in Literature and Culture (lecture) I	1	1.0	2-4				Intermediate lecture in "One-Planet Relational Studies": case study and overview. (Key words: stewardship and mindfulness, critical thinking and problem solution, agency and discourse, relational and planetary approaches.)	2026年度より2年おきに開講。 英語で授業。 2025年度開講せず。 対面
AC63J11	One-Planet Relational Studies in Literature and Culture (lecture) II	1	1.0	2-4				Advanced lecture in "One-Planet Relational Studies": case study and overview. (Key words: stewardship and mindfulness, critical thinking and problem solution, agency and discourse, relational and planetary approaches.)	2027年度より2年おきに開講。 英語で授業。 2025年度開講せず。 対面
AC63J21	One-Planet Relational Studies in Literature and Culture (lecture) III	1	1.0	2-4	秋AB	月5	ヘーゼルハウス、ヘラト	This class introduces the basic concepts and methods of "One-Planet Relational Studies": stewardship and mindfulness, critical thinking and problem solution, agency and discourse, relational and planetary approaches to our common world.	2025年度より2年おきに開講。 英語で授業。 対面(オンライン併用型)
AC63K02	One-Planet Relational Studies in Literature and Culture (seminar) I	2	1.0	2-4				This class focuses on concepts of social and moral responsibility, such as global citizenship, stewardship and mindfulness.	2026年度より2年おきに開講。 英語で授業。 2025年度開講せず。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AC63K12	One-Planet Relational Studies in Literature and Culture (seminar) II	2	1.0	2 - 4				This class focuses on agency and problem solution in current global issues and crises.	2026年度より2年おきに開講。 英語で授業。 2025年度開講せず。 対面
AC63K22	One-Planet Relational Studies in Literature and Culture (seminar) III	2	1.0	2 - 4				This class focuses on changing historical conceptualizations and discourses in global issues and crises.	2027年度より2年おきに開講。 英語で授業。 2025年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
AC63K32	One-Planet Relational Studies in Literature and Culture (seminar) IV	2	1.0	2 - 4				This class discusses practical and theoretical issues of "One-Planet Relational Studies".	2027年度より2年おきに開講。 英語で授業。 2025年度開講せず。 対面
AC63K42	One-Planet Relational Studies in Literature and Culture (seminar) V	2	1.0	2 - 4	春AB	火2	ヘーゼルハウス、ヘラト	This class focuses on agency and problem solution in current global issues and crises.	2025年度より2年おきに開講。 英語で授業。 対面
AC63K52	One-Planet Relational Studies in Literature and Culture (seminar) VI	2	1.0	2 - 4	秋AB	火2	ヘーゼルハウス、ヘラト	This class focuses on agency and problem solution in current global issues and crises.	2025年度より2年おきに開講。 英語で授業。 対面
AC63L01	表現文化領域特論I	1	1.0	2 - 4				内外における様々な研究成果の紹介を通して、表現文化領域におけるトピックスについて講義する。なお授業内容の詳細については、シラバスを参照すること。	IとIIの両方を履修することができる。 2025年度開講せず。
AC63L11	表現文化領域特論II	1	1.0	2 - 4				内外における様々な研究成果の紹介を通して、表現文化領域におけるトピックスについて講義する。なお授業内容の詳細については、シラバスを参照すること。	IとIIの両方を履修することができる。 2025年度開講せず。 対面

専門科目(文化科学領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AC64A01	先端文化科学研究I	1	1.0	3・4	春AB	木3	山口 有梨沙	[イメージ文化論] 近現代ヨーロッパ(主にイギリス)の様々な「衣服や身体に関するイメージ」を、視覚および物質資料を参照しながら探究する。	対面 AC64001の単位取得者は履修できない。
AC64A21	先端文化科学研究III	1	1.0	3・4	春AB	木4	対馬 美千子	[表象文化論]:現代文化や現代社会における表象に関わる問題について文献講読を通して考察する。	対面 AC64021の単位取得者は履修できない。
AC64A31	先端文化科学研究IV	1	1.0	3・4	秋AB	木4	対馬 美千子	[表象文化論]:現代文化や現代社会における表象に関わる問題について文献講読を通して考える。	対面 AC64031の単位取得者は履修できない。
AC64A41	先端文化科学研究V	1	1.0	3・4	春AB	火5	廣瀬 浩司	[感性文化論] 感性や身体にかかわる具体的な事象(言語、芸術、思想)をとりあげ、その創造的な意義について考察する。	対面 AC64041の単位取得者は履修できない。
AC64A51	先端文化科学研究VI	1	1.0	3・4	秋AB	火5	廣瀬 浩司	[感性文化論] 感性にかかわる具体的な事象(芸術、思想)をとりあげ、その創造的な意義について考察する。	対面 AC64051の単位取得者は履修できない。
AC64A61	先端文化科学研究VII	1	1.0	2・3	春AB	水3	山口 恵里子	[イメージ人類学]:芸術と人類学の接点において「イメージ」と身体の関係性について問う。	対面 先端文化科学研究VII(AC32781、AC64061)ないし欧米の歴史と文化(AE12H21)の単位取得者は履修できない。
AC64A71	先端文化科学研究IX	1	1.0	2・3				近代から現代にかけてのヨーロッパ(特にドイツ)のさまざまな文化事象や文化理論について考察する。	2025年度開講せず。 対面 AC64071の単位取得者は履修できない。
AC64A91	先端文化科学研究X	1	1.0	2・3				近代から現代にかけてのヨーロッパ(特にドイツ)のさまざまな文化事象や文化理論について考察する。	2025年度開講せず。 対面 AC64091の単位取得者は履修できない。
AC64B01	先端文化科学研究XI	1	1.0	3・4	秋AB	月5	濱田 真	近現代ヨーロッパ(特にドイツ)の文化・芸術の特徴を、主要な思想家や芸術家に焦点を当てて考察する。	対面
AC64B52	先端文化学演習I	2	1.0	2・3	春AB	月4	廣瀬 浩司	[身体・感性文化論演習]:からだの感覚は、文化とどのような関係にあるのか、基本的な文献を講読しつつ、ひとつひとつ丁寧に考える力をつける。	対面 AC32802、AC64102の単位取得者は履修できない。
AC64B62	先端文化学演習II	2	1.0	2・3				[生命・感性文化論演習]:じぶんの身体に問いかけることで、生命とは何か、それは文化、芸術とどう関係しているかを具体的な事象にそくして考えるための文献を講読する。希望によりフランス語文献、あるいはその英訳を参照する授業になる。	2025年度開講せず。 対面 AC64112の単位取得者は履修できない。
AC64B72	先端文化学演習III	2	1.0	2・3				[表象文化論演習]:現代文化や現代社会における表象の問題について文献講読、発表・討論を通して考察する。	教室についてはmanabaで周知する。 2025年度開講せず。 対面 AC64122の単位取得者は履修できない。
AC64B82	先端文化学演習IV	2	1.0	2・3	秋AB	木6	対馬 美千子	[表象文化論演習]:現代文化や現代社会における表象の問題について文献講読、発表・討論を通して考える。	教室についてはmanabaで周知する。 対面 AC64132の単位取得者は履修できない。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AC64C02	先端文化学演習VI	2	1.0	3・4				[イメージ人類学演習]:イメージのもつ力(効果・効力)について論じる文献を購読し、そのアプローチについて考察を深める。	2025年度開講せず。 対面
AC64C12	先端文化学演習VII	2	1.0	3・4				[イメージ人類学演習]:イメージのもつ力(効果・効力)について論じる文献を購読し、そのアプローチについて考察を深める。	2025年度開講せず。 対面 AC64162の単位取得者は履修できない。
AC64C22	先端文化学演習VIII	2	1.0	3・4	秋AB	水3	山口 恵里子	[イメージ人類学演習]:イメージのもつ力(効果・効力)について論じる文献を購読し、そのアプローチを具体的な事例の考察に応用する。	対面 AC64172の単位取得者は履修できない。
AC64C32	先端文化学演習IX	2	1.0	3・4				近現代ヨーロッパ(主にイギリス)の様々な「衣服や身体に関するイメージ」を、文献購読、発表を通して考える。	2025年度開講せず。 対面(オンライン併用型) AC64182の単位取得者は履修できない。
AC64C42	先端文化学演習X	2	1.0	3・4	春AB	火6	濱田 真	ドイツを中心とした近現代ヨーロッパのさまざまな文化論を取り上げて、文化の諸問題について考察する。	対面 AC64192の単位取得者は履修できない。
AC64C52	先端文化学演習XI	2	1.0	3・4	秋AB	火6	濱田 真	[文化芸術論]近代から現代にかけてのヨーロッパ(特にドイツ)の芸術論の系譜を辿り、文化と芸術の関係について考察する。	対面 AC64202の単位取得者は履修できない。
AC64E01	コミュニケーション論	1	1.0	2・3	春AB	月2	海後 宗男	この授業では、コミュニケーション・プロセスに関する知見を、応用できるようになることを目的とする。	AC64301、BB11401の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 BB11391と同一。 対面
AC64E11	メディア・コミュニケーション論	1	1.0	2・3				マス・メディアの効果研究の主要な理論と実際の研究をとりあげ、現在のメディア・コミュニケーション研究の流れを概観し、考察する。	AC64311、BB11411の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 BB11441と同一。 対面
AC64E21	広告文化論	1	1.0	2 - 4	秋AB	金4	白戸 健一郎	本講義は、メディア史という観点から広告文化のありようとその社会的背景について理解する。そもそも広告を必要とする社会とはいかなる社会か。また、広告や広告技術はいかなる媒体において展開してきたのか。その歴史的社会的背景はなにか。これを江戸期、明治期、大正期、昭和戦前期、戦後における歴史的展開のなかで位置づけ、広告文化を批判的に理解する視座を習得する。	AC64321の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面
AC64E31	映像文化論	1	1.0	3・4				映像文化に関する基本的な原理や手法をその事例となる映像作品などで理解する。特に、映像と暴力描写や戦争、イメージ形成に関して学ぶ。	AC64331の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 対面
AC64E41	記号文化論	1	1.0	2 - 4				本講義は、メディア史という観点から「世論」形成過程の歴史的構造転換を概観し、その社会的歴史的意義を考えるものである。ユルゲン・ハーバーマスの「市民的公共性」概念をキーワードにして日本の前近代から近代、そして現代に至るまで、「世論」はいかなる社会的文脈で重要視され、また、「世論」形成の構造はいかなる変容をしめつつ、現代社会にまで至ったか。これを理解することで、現代社会における「世論」形成の可能性と限界、そして意義を批判的に考察できるであろう。	AC64421の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 対面
AC64F02	コミュニケーション論演習1	2	1.0	2 - 4				前半では調査系(推測統計学・多変量解析等を活用した)論文の読み方を学ぶ。テキストに基づいて発表を行う。後半では、実際の論文を読む。	AC64342の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 対面
AC64F12	コミュニケーション論演習2	2	1.0	2 - 4				この演習ではコミュニケーション研究を実施するために必要になる調査とデータの整理に関する文献を輪読し、発表を行う。ネットワーク、特に人間と社会について考える。	AC64352の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 対面
AC64F22	コミュニケーション論演習3	2	1.0	2 - 4	春AB	火2	海後 宗男	メディア論に関連する文献をその都度指示し、輪読・発表を行います。特に、マス・メディアとコミュニケーションに関して考察する。本演習では対人コミュニケーション能力が重要。	AC64362の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面
AC64F32	コミュニケーション論演習4	2	1.0	2 - 4	秋AB	火2	海後 宗男	メディアと政治に関連する文献をその都度指示し、輪読・発表を行います。特に、メディアと政治に関して考察する。本演習では対人コミュニケーション能力が重要。	AC64372の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面
AC64F42	情報社会論演習1	2	1.0	2 - 4				メディア論・情報社会論・メディア史に関する先端的文献を輪読し、討論する。演習であるので、主体的な参加が求められる。	AC64392の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 対面
AC64F52	情報社会論演習2	2	1.0	2 - 4				メディア論・情報社会論・メディア史に関する古典的文献を輪読し、討論する。演習であるので、主体的な参加が求められる。	AC64412の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。
AC64F62	情報社会論演習3	2	1.0	2 - 4	春AB	金5	白戸 健一郎	メディア論・情報社会論・メディア史に関する先端的文献を輪読し、討論する。演習であるので、主体的な参加が求められる。	AC64402の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面
AC64F72	情報社会論演習4	2	1.0	2 - 4	秋AB	金5	白戸 健一郎	メディア論・情報社会論・メディア史に関する古典的文献を輪読し、討論する。演習であるので、主体的な参加が求められる。	AC64412の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面
AC64H01	文化科学領域特論I	1	1.0	2 - 4				内外における様々な研究成果を紹介を通して、文化科学領域におけるトピックスについて講義する。なお授業内容の詳細については、シラバスを参照すること。	IとIIの両方を履修することができる。 2025年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AC64H11	文化科学領域特論II	1	1.0	2 - 4				内外における様々な研究成果の紹介を通して、文化科学領域におけるトピックスについて講義する。なお授業内容の詳細については、シラバスを参照すること。	IとIIの両方を履修することができる。 2025年度開講せず。

専門科目(思想文化領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AC65A01	分析哲学	1	1.0	2・3	春AB	水2	橋本 康二	分析哲学において論理、意味、存在などの問題がどのように論じられてきたのかを考察する。	AC65001の単位取得者は履修できない。 対面(オンライン併用型)
AC65A11	現代倫理学	1	1.0	2 - 4	春C	金4,5	太田 紘史	自由意志および道徳的責任に関する根本的な係争点を概観するとともに、哲学的諸説が相互に対立しながらどのように進歩してきたのかを検討する。	AC65031の単位取得者は履修できない。 対面・オンライン(同時双方向型)
AC65A21	哲学カフェ	1	1.0	2 - 4	春AB	金5	太田 紘史	対話というものが哲学においてどのように変容し多様化してきたかを概観しながら、哲学方法論のさまざまな可能性を検討する。哲学を楽しむ新しいやり方も考えてみる。	AC65041の単位取得者は履修できない。 対面
AC65A31	日本・東洋思想史研究I	1	1.0	2 - 4				日本思想史における諸問題について、儒、仏、道(神道)の習合関係に属し、日中韓の思想、歴史を横断的に考察する。あわせて、東洋と西洋の比較思想をも視野に入れて、日本思想史の展開の諸相を多面的に考察する。	日本・東洋思想史研究I (AC31981, AC65181) ないし東洋倫理思想史a (AB62151)の単位取得者は履修できない。 2025年度開講せず。
AC65A41	日本・東洋思想史研究II	1	1.0	2 - 4	秋AB	木3	巖 錫仁	江戸思想史の展開様相を幅広く考察する。同時代の中国・韓国思想との比較考察も行う。	日本・東洋思想史研究II (AC65191) ないし東洋倫理思想史b (AB62161)の単位取得者は履修できない。 対面
AC65A51	日本・東洋思想史研究III	1	1.0	2 - 4	春AB	木2	巖 錫仁	中国倫理思想を対象として、その内容と東アジア地域における展開様相を幅広く考察する。	西暦奇数年度開講。 対面
AC65A61	比較思想研究	1	1.0	2 - 4	春AB	木5	井川 義次	東西の世界的思想交流についての思想史の比較を行う。東西の思想交流についての思想史的研究を行う。後期はロシアの文豪トルストイや現代哲学の代表人物ハイデッガーも称賛し400種近い西欧語の翻訳がある『老子』やの思想について、書き下しや現代語を通して詳しく講読する。	比較思想研究 (AC65061) ないし東洋哲学史a (AB61351)の単位取得者は履修できない。 対面
AC65A71	比較思想史研究	1	1.0	2 - 4	秋AB	木5	井川 義次	東西の思想交流についての思想史的研究を行う。東西の世界的思想交流についての思想史の比較を行う。後期は東洋世界はもちろん現代欧米世界に強烈な刺激を与えている『荘子』の思想について、書き下しや現代語を通して優しく講読する。	比較思想史研究 (AC65071) ないし東洋哲学史b (AB61361)の単位取得者は履修できない。 対面
AC65B02	分析哲学演習	2	1.0	3・4	春AB	水3	橋本 康二	分析哲学の古典的な著作・論文を読む。	AC65082の単位取得者は履修できない。 対面(オンライン併用型)
AC65B12	現代倫理学演習I	2	1.0	2 - 4				ロボットや人工知能が関わる倫理的問題について考えてみる。授業は日本語テキストの輪読とディスカッションの形で進める。	AC65112の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 対面
AC65B22	現代倫理学演習II	2	1.0	2 - 4	秋AB	金5	太田 紘史	テクノロジーの根本的な性格および個別的な倫理的問題について考えてみる。授業は日本語テキストの輪読とディスカッションの形で進める。	AC65122の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面・オンライン(同時双方向型)
AC65B32	哲学カフェ演習I	2	1.0	2 - 4				哲学の問いは多様さと自由さにあふれている。他者の言葉に耳を傾け、自分の言葉を紡いでみよう。	AC65132の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 対面(オンライン併用型)
AC65B42	哲学カフェ演習II	2	1.0	2 - 4	秋C	金4,5	太田 紘史	哲学の問いは多様さと自由さにあふれている。他者の言葉に耳を傾け、自分の言葉を紡いでみよう。	AC65142の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面(オンライン併用型)・オンライン(同時双方向型)
AC65B52	日本・東洋思想史研究演習I	2	1.0	2 - 4				『論語集注』を講読する。本年度は顔淵篇を読む。	日本・東洋思想史研究演習I (AC31982, AC65202) ないし東洋倫理思想史演習a (AB62652)の単位取得者は履修できない。 2025年度開講せず。
AC65B62	日本・東洋思想史研究演習II	2	1.0	2 - 4	春AB	木3	巖 錫仁	江戸思想史の文献資料を講読する。	日本・東洋思想史研究演習II (AC65212) ないし東洋倫理思想史演習b (AB62662)の単位取得者は履修できない。 対面
AC65B72	日本・東洋思想史研究演習III	2	1.0	2 - 4				儒教思想の文献資料を講読する。	西暦偶数年度開講。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AC65B82	比較思想研究演習	2	1.0	2-4	春AB	木4	井川 義次	大航海時代・宗教改革の時代、キリスト教カトリック宣教師たちは布教の効率化のため中国哲学文献を精査し、ヨーロッパに紹介した。これはライプニッツ、クリスチヤン・ヴォルフに至る欧米知識人に「神」なき人間の知徳による世界完成と受け取られ大きな影響をもたらした。本授業ではその実状を東西両洋の文献を通して明らかにする。	比較思想研究演習(AC65162) ないし東洋哲学演習a (AB61612)の単位取得者は履修できない。 対面
AC65B92	比較思想史研究演習	2	1.0	2-4	秋AB	木4	井川 義次	理性の時代・啓蒙主義から百科全書派に到るまで、カトリック・イエズス会宣教師たちは布教の効率化のため中国哲学文献を精査し、欧米世界に紹介した。これはフランス革命に至る欧米知識人に「神」なき人間の知徳による世界完成と受け取られ大きな影響をもたらした。本授業ではその実状を東西両洋の文献を通して明らかにする。	比較思想史研究演習(AC65172) ないし東洋哲学演習b (AB61622)の単位取得者は履修できない。 対面
AC65E01	比較宗教論I	1	1.0	2-4				イスラーム教徒の数は近年急速に増加しており、およそ20億人と推定される。現代社会において国際的な活躍を目指すならば、イスラームに関する知識は不可欠と言って良い。本授業はイスラームという宗教についてその成り立ちから現代におけるあり方を取り上げる。	比較宗教論I(AC65421) ないし宗教社会学a (AB63051)の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 対面
AC65E11	比較宗教論II	1	1.0	2-4				現代世界におけるイスラームのプレゼンスは大きく増しつつある。本授業ではイスラーム教徒による近代的諸問題に関する見方を解説していく。主に近代化と宗教改革運動、いわゆる原理主義、イスラーム金融、食べ物や化粧品に対しての宗教的合法性(ハラール)の認証、といったテーマを取り上げていく。本授業はあくまでもこれらの諸問題を政治学、社会学、経済学などの観点から論じるのではなく、宗教学的視野から考察するものである。	比較宗教論II(AC65431) ないし宗教社会学b (AB63061)の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 対面
AC65E21	比較宗教論III	1	1.0	2-4	春AB	月4	平野 貴大	全世界で20億ほどの信徒数を抱えるイスラームにはスンナ派とシーア派の2大宗派が存在する。本講義はスンナ派の教義に着目することで、イスラームに関する基礎的知識と理解を涵養するものである。	AC65441の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面
AC65E31	比較宗教論IV	1	1.0	2-4	秋AB	月4	平野 貴大	世界中で20億人もの信徒数を抱えるイスラームにはスンナ派とシーア派の2大宗派が存在する。本講義はシーア派の成り立ちと思想に着目し、イスラームの基礎的知識や理解を涵養する。	AC65451の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面
AC65E41	比較宗教論V	1	1.0	2-4				多種多様な宗教現象を解釈、分析するには多角的な観点からの考察が求められる。同時に、それらの多様な宗教の共通点と相違点についても考えなくてはならない。本講義では、宗教の現象学的研究に焦点を当てる。歴史のかつ具体的事例を取り上げる。	AC65461の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 対面
AC65E51	比較宗教論VI	1	1.0	2-4				多種多様な宗教現象を解釈、分析するには多角的な観点からの考察が求められる。同時に、それらの多様な宗教の共通点と相違点についても考えなくてはならない。本講義では、宗教の社会学的研究に焦点を当てる。具体的事例を取り上げながら、その社会学的側面について考える。	AC65471の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 対面
AC65E61	比較宗教論VII	1	1.0	2-4	春AB	木6	木村 武史	多種多様な宗教現象を解釈、分析するには多角的な観点からの考察が求められる。同時に、それらの多様な宗教の共通点と相違点についても考えなくてはならない。本講義では、宗教の現象学的研究に焦点を当てる。現代のかつ具体的事例を取り上げる。	AC65481の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面
AC65E71	比較宗教論VIII	1	1.0	2-4	秋AB	木6	木村 武史	多種多様な宗教現象を解釈、分析するには多角的な観点からの考察が求められる。同時に、それらの多様な宗教の共通点と相違点についても考えなくてはならない。本講義では、宗教の比較神話論的研究に焦点を当てる。歴史上の具体的事例を取り上げながら、その神話と象徴的側面について考える。	AC65491の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面
AC65F02	比較宗教演習I	2	1.0	2-4				世俗が進んだ現代社会においても宗教は人々の思想や行動に大きな影響を及ぼしてきた。とりわけイスラームはその影響が人々の日常の生活において明確に可視化されている。本授業では、イスラームの教義と信徒の宗教実践に関する文献・論文を読解することで、イスラーム教徒の思想と行動原理を学んでいく。	AC65302の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 対面
AC65F12	比較宗教演習II	2	1.0	2-4				世俗が進んだ現代社会においても宗教は人々の思想や行動に大きな影響を及ぼしてきた。本授業では主に世界宗教(仏教、キリスト教、イスラーム)に関する書籍を読解することで、諸宗教の理解を目指す。学生は毎回指定されるテーマについて事前に文献を読むなどして調査し、それについて発表することが求められる。	AC65312の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 対面
AC65F22	比較宗教演習III	2	1.0	2-4	春AB	月5	平野 貴大	イスラームのスンナ派の中には4大法学派があり、そのうちの1つがハナフィー学派である。同学派の名祖アブー・ハニーファは法学者でありながら、『大フィクフ』という神学書を執筆している。本授業では彼の『大フィクフ』の英訳を購読し、スンナ派イスラームの信衆がどのようなかを原典訳から考察する。	AC65322の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面
AC65F32	比較宗教演習IV	2	1.0	2-4	秋AB	月5	平野 貴大	本授業では20世紀のシーア派法学者のムハンマド・レザー・ムザフファルの神学綱領の英訳(原典はアラビア語)を購読し、シーア派イスラームの信衆がどのようなかを原典訳から考察する。	AC65332の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AC65F42	比較宗教演習V	2	1.0	2 - 4				多種多様な宗教現象を解釈、分析するには多角的な観点からの考察が求められる。同時に、それらの多様な宗教の共通点と相違点についても考えなくてはならない。本演習では、宗教の現象学的研究に焦点を当てる。	AC65342の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 対面
AC65F52	比較宗教演習VI	2	1.0	2 - 4				多種多様な宗教現象を解釈、分析するには多角的な観点からの考察が求められる。同時に、それらの多様な宗教の共通点と相違点についても考えなくてはならない。本演習では、宗教の社会学的研究に焦点を当てる。	AC65352の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 対面
AC65F62	比較宗教演習VII	2	1.0	2 - 4	春AB	火4	木村 武史	多種多様な宗教現象を解釈、分析するには多角的な観点からの考察が求められる。同時に、それらの多様な宗教の共通点と相違点についても考えなくてはならない。本演習では、宗教の現象学的研究に焦点を当てる。	AC65362の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面
AC65F72	比較宗教演習VIII	2	1.0	2 - 4	秋AB	火4	木村 武史	多種多様な宗教現象を解釈、分析するには多角的な観点からの考察が求められる。同時に、それらの多様な宗教の共通点と相違点についても考えなくてはならない。本演習では、宗教の比較神話論的研究に焦点を当てる。	AC65372の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面
AC65G03	比較宗教実習I	3	1.0	2・3	春C	集中	木村 武史	日本の社寺等の宗教施設を訪れ、宗教の現場に接する事を目的とする。	比較宗教実習I (AC65503) ないし宗教学実習A (AB63813)の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 含野外調査。対面
AC65G13	比較宗教実習II	3	1.0	2・3				日本の諸宗教の現代的実情を実地調査を通して学ぶ。	比較宗教実習II (AC65513) ないし宗教学実習B (AB63823)の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 対面
AC65H01	思想文化領域特論I	1	1.0	2 - 4				内外における様々な研究成果の紹介を通して、思想文化領域におけるトピックスについて講義する。なお授業内容の詳細については、シラバスを参照すること。	IとIIの両方を履修することができる。 2025年度開講せず。 対面
AC65H11	思想文化領域特論II	1	1.0	2 - 4				内外における様々な研究成果の紹介を通して、思想文化領域におけるトピックスについて講義する。なお授業内容の詳細については、シラバスを参照すること。	2025年度開講せず。 対面

専門科目(共通)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AC66001	比較文化国際研修オリエンテーション	1	1.0	1 - 3	秋C	集中	竹谷 悦子, 吉原 ゆかり	異文化交流を目的としたカナダ・プリンスエドワード島大学における約3週間の留学体験プログラムに参加するにあたって必須となる事前留学オリエンテーション	次年度UPEI夏季英語研修に参加希望の学生は本科目の履修必修。日本語と英語で授業。 オンライン(オンデマンド型)。オンライン(同時双方向型)
AC66003	比較文化国際研修I	3	3.0	1 - 4				異文化交流を目的としたカナダ・プリンスエドワード島大学における約3週間の留学体験プログラム。	IとIIとの両方を履修することができる。履修説明会を行う(後日掲示)。人数制限あり。比較文化学類生を優先する。 西暦奇数年度開講。 英語で授業。 2025年度開講せず。 対面
AC66013	比較文化国際研修II	3	3.0	1 - 4				異文化交流を目的としたカナダ・プリンスエドワード島大学における約3週間の留学体験プログラム。	IとIIとの両方を履修することができる。履修説明会を行う(後日掲示)。人数制限あり(20名)。比較文化学類生を優先する。 西暦偶数年度開講。 英語で授業。 2025年度開講せず。 対面
AC66102	比較文化国際演習I	2	1.0	1 - 4				インドネシア、ガジャマダ大学の教員による英語授業。インドネシアの宗教と文化に関する歴史と政治を取り上げ、特に現在の状況に目を向ける。日々の生活を通して、多様な伝統をいかに維持し、改革し、再構成しようとしているのかを、その多様な表現を通して検討する。最初に歴史的背景を紹介し、現代の宗教的衝突と政治、宗教と文化の関係を取り上げる。特に、先住民の宗教、女性と宗教、環境問題などにも目を向ける。	英語で授業。 2025年度開講せず。 オンライン(同時双方向型)。今年度の卒業予定者は履修不可
AC66103	インターンシップI	3	1.0	2				インターンシップに参加すると共に、レポート作成および参加者によるディスカッションを通じた振り返りにより、自身の将来の方向性を明確にする。なお本科目は、比較文化学類生のキャリア支援を目的とするものであり、産学協議会の分類上の「タイプ3」ないし「タイプ4」に相当するものだけを対象とするわけではない。	比較文化学類2年次に限る。事前オリエンテーションに必ず出席すること(後日掲示)。 2025年度開講せず。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AC66112	比較文化国際演習II	2	1.0	1 - 4				高麗大学校（韓国）との国際研修「韓国文化の過去、現在、未来」。韓国伝統文化に対する理解を深め、現代の韓国文化ブームの根幹となる諸般の様相を多角的に考察する授業である。韓国の歴史、政治、社会文化的現象を様々な文化コンテンツを中心に伝統文化と大衆文化の観点から解釈し、受講生に韓国文化を体系的に把握できる機会を提供する。	英語で授業。 2025年度開講せず。 対面（オンライン併用型）、オンライン（同時双方向型）
AC66113	インターンシップII	3	1.0	3				インターンシップに参加すると共に、レポート作成および参加者によるディスカッションを通じた振り返りにより、自身の将来の方向性を明確にする。なお本科目は、比較文化学類生のキャリア支援を目的とするものであり、産学協議会の分類上の「タイプ3」ないし「タイプ4」に相当するものだけを対象とするわけではない。	比較文化学類3年次に限る。事前オリエンテーションに必ず出席すること（後日揭示）。 2025年度開講せず。 対面
AC66122	比較文化国際演習III	2	1.0	1 - 4				フィリピン大学との国際研修。フィリピン現代文化に対する理解を深め、フィリピンと日本の文化交流を多角的に考察する。フィリピンの歴史・文化（文学、食文化、エンターテインメント、観光、コミックス）や、日本のアニメ・漫画のフィリピンにおける人気などにつき学び、受講生がフィリピン文化を体系的に把握できる機会を提供する。使用言語は英語。	英語で授業。 2025年度開講せず。 オンライン（同時双方向型）、今年度の卒業予定者は履修不可
AC66123	インターンシップIII	3	1.0	4				インターンシップに参加すると共に、レポート作成および参加者によるディスカッションを通じた振り返りにより、自身の将来の方向性を明確にする。なお本科目は、比較文化学類生のキャリア支援を目的とするものであり、産学協議会の分類上の「タイプ3」ないし「タイプ4」に相当するものだけを対象とするわけではない。	比較文化学類4年次に限る。事前オリエンテーションに必ず出席すること（後日揭示）。 2025年度開講せず。 対面
AC66132	比較文化国際演習IV	2	1.0	1 - 4				ボンティフィカル・カトリック大学サンパウロ校（ブラジル）との国際研修。ラテンアメリカの大国ブラジルの文化を学ぶ。ブラジルのメディア文化、日系移民史と日系文化、都市文化、ビデオ・アートなど現在の多様なブラジル文化を紹介する。講師はブラジル・サンパウロにあるボンティフィカル・カトリック大学サンパウロ校とサンパウロ連邦大学の先生たちである。	本年度卒業予定者は履修できない。 英語で授業。 2025年度開講せず。 オンライン（同時双方向型）、今年度の卒業予定者は履修不可 担当の先生によっては日本語で講義することもある
AC66133	キャリア教育・インターンシップI	3	1.0	2	通年	応談	馬籠 清子	各自がインターンシップに参加してレポートを作成し、また、履修者全員が年度末の振り返りを一緒にしながら、自身の将来について考えを深めていく。	比較文化学類2年次に限る。事前オリエンテーションに必ず出席すること（後日揭示）。 AC66103の単位取得者は履修できない。 対面
AC66142	比較文化国際演習V	2	1.0	1 - 4				TUドルトムント大学（ドイツ）との国際研修。第二次世界大戦後の東西分裂に始まり、冷戦後の再統一を経て現在に至るまでのドイツ文化を考察する。食と栄養、ポピュラーカルチャー、教育、ジェンダーとセクシュアリティ、移民・難民政策などの観点から、ドイツ文化の変遷を多角的に扱う。主な使用言語は英語。	英語で授業。 2025年度開講せず。 オンライン（同時双方向型）
AC66143	キャリア教育・インターンシップII	3	1.0	3	通年	応談	馬籠 清子	各自がインターンシップに参加してレポートを作成し、また、履修者全員が年度末の振り返りを一緒にしながら、自身の将来について考えを深めていく。	比較文化学類3年次に限る。事前オリエンテーションに必ず出席すること（後日揭示）。 AC66113の単位取得者は履修できない。 対面
AC66152	比較文化国際演習VI	2	1.0	1 - 4				中山大学（台湾）との国際研修「食文化と食文学で台湾を知る」。移民社会である台湾においては、地域や店ごとにさまざま異なるグルメの数々は移民たちの記憶であり、台湾の歴史のなかで起こった文化の混濁と変容の痕跡でもあった。この授業は、台湾の風土・歴史・文化の多様性を概観しながら、文学テキストや芸術・祭儀の例を通して台湾の食文化やローカルフードについて検討する。さらに「食」を通して問いかけられる地域性や生命多様性の問題を一緒に考える予定である。	英語で授業。 2025年度開講せず。 オンライン（同時双方向型）、今年度の卒業予定者は履修不可
AC66153	キャリア教育・インターンシップIII	3	1.0	4	通年	応談	馬籠 清子	各自がインターンシップに参加してレポートを作成し、また、履修者全員が年度末の振り返りを一緒にしながら、自身の将来について考えを深めていく。	比較文化学類4年次に限る。事前オリエンテーションに必ず出席すること（後日揭示）。 AC66123の単位取得者は履修できない。 対面
AC66162	比較文化国際演習VII	2	1.0	1 - 4				チャナッカレ・オンセキズマルト大学（トルコ）との国際研修「文明の交差点：現在トルコ社会と文化」。多様な文化と言語が共存するトルコはアジア・イスラム・ヨーロッパ文明の交差点である。授業では移民など人間の移動が昔から多かったトルコの歴史、政治、日常生活と伝統文化を多文化の共存という立場から考察する。受講生はこの授業でトルコの文化や現在の生活様式を、食文化、日常生活語感、教育制度と学生の日常生活、大衆文化や移民との共存などの角度からとらえる。	英語で授業。 2025年度開講せず。 オンライン（同時双方向型）

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AC66172	比較文化国際演習VIII	2	1.0	1 - 4				マラヤ大学の教員によるオンライン同時双方向授業。多文化社会・多民族社会のマレーシアの文化、社会についての基礎を学ぶ。映像資料等を用いながら、教えてくれます。言語は英語。	英語で授業。 2025年度開講せず。 オンライン(同時双方向型)。今年度の卒業予定者は履修不可
AC66182	比較文化国際演習IX	2	1.0	1 - 4				国立台湾大学との国際演習 アメリカ文学・映画・文化。言語は英語。	英語で授業。 2025年度開講せず。 オンライン(同時双方向型)
AC66202	比較文化国際演習X	2	1.0	1 - 4				世界の大学のシェークスピア国際演習(台湾、韓国、英国、フィリピン、ウクライナ)。言語は英語。	英語で授業。 2025年度開講せず。 オンライン(同時双方向型)。今年度の卒業予定者は履修不可
AC66212	比較文化国際演習XI	2	1.0	1 - 4	秋C	集中	吉原 ゆかり	トルコ(テュルクエ)、韓国、台湾、筑波大学教員による、現地の食文化・若者文化、現地で人気な日本文化、日本文化研究の最前線について学ぶ。言語は英語を基本とし、補助的に、日本語、韓国語、中国語を用いる。	今年度の卒業予定者は履修不可 英語で授業。 1/25-26, 2/8 オンライン(同時双方向型)。今年度の卒業予定者は履修不可

専門科目(卒業論文基礎演習)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AC67002	日本・アジア領域卒業論文基礎演習I	2	1.0	3	春AB	随時	茂野 智大, 馬場美佳, 吉森 佳奈子, 石塚 修, 山澤学, 稀代 麻也子, 長尾 宗典, 山本真, 横山 剛	日本・アジア領域に所属して卒業論文を執筆するために、各自の問題意識を深めるとともに、研究の対象・方法を考える。履修にあたっては各コース世話人数員の指示に従うこと。	比較文化学類生に限る。 対面
AC67012	日本・アジア領域卒業論文基礎演習II	2	1.0	3	秋AB	随時	茂野 智大, 馬場美佳, 吉森 佳奈子, 石塚 修, 山澤学, 稀代 麻也子, 長尾 宗典, 山本真, 横山 剛	日本・アジア領域に所属して卒業論文を執筆するために、各自の問題意識を深めるとともに、論文執筆の具体的な計画を考える。履修にあたっては各コース世話人数員の指示に従うこと。	比較文化学類生に限る。 対面
AC67022	英米・ヨーロッパ領域卒業論文基礎演習I	2	1.0	3	春AB	応談	加藤 百合, 竹谷悦子, 秋山 学, 佐藤 千登勢, 津田博司, 宮崎 和夫, 阿部 幸大, TSAI TSUNG-HAN, 馬籠清子, 飯田 賢穂, 茅野 大樹	英米・ヨーロッパ領域に所属して卒業論文を執筆するために、各自の問題意識を深めるとともに、研究の対象・方法を考える。履修にあたっては領域・コース世話人数員の指示に従うこと。	比較文化学類生に限る。 対面
AC67032	英米・ヨーロッパ領域卒業論文基礎演習II	2	1.0	3	秋AB	応談	加藤 百合, 竹谷悦子, 秋山 学, 佐藤 千登勢, 津田博司, 宮崎 和夫, 阿部 幸大, TSAI TSUNG-HAN, 馬籠清子, 飯田 賢穂, 茅野 大樹	英米・ヨーロッパ領域に所属して卒業論文を執筆するために、各自の問題意識を深めるとともに、論文執筆の具体的な計画を考える。履修にあたっては領域・コース世話人数員の指示に従うこと。	比較文化学類生に限る。 対面
AC67042	フィールド文化領域卒業論文基礎演習I	2	1.0	3	春AB	応談	森本 健弘, 木村周平, 塩谷 哲史, 徳丸 亜木, 松井圭介, 久保 倫子, 佐本 英規, 渡部圭一	フィールド文化領域に所属して卒業論文を執筆するために、各自の問題意識を深めるとともに、研究の対象・方法を考える。履修にあたっては各領域・コース世話人数員の指示に従うこと。	比較文化学類生に限る。 対面
AC67052	フィールド文化領域卒業論文基礎演習II	2	1.0	3	秋AB	応談	森本 健弘, 木村周平, 塩谷 哲史, 徳丸 亜木, 松井圭介, 久保 倫子, 佐本 英規, 渡部圭一	フィールド文化領域に所属して卒業論文を執筆するために、各自の問題意識を深めるとともに、論文執筆の具体的な計画を考える。履修にあたっては各領域・コース世話人数員の指示に従うこと。	比較文化学類生に限る。 対面
AC67062	表現文化領域卒業論文基礎演習I	2	1.0	3	春AB	随時	齋藤 一, 吉原 ゆかり, 平石 典子, 三原 鉄也, 江藤光紀, 佐藤 嘉幸, 小川 美登里, ヘーゼルハウス, ヘラト, 五月女 颯	卒業論文執筆に向けて、ディスカッション、発表、個別指導などを行う。テキスト文化学コースは木曜5時限に開講予定。文化創造論コースは水曜6時限に開講予定。	比較文化学類生に限る。 対面
AC67072	表現文化領域卒業論文基礎演習II	2	1.0	3	秋AB	随時	三原 鉄也, 齋藤一, 吉原 ゆかり, 平石 典子, 江藤光紀, 佐藤 嘉幸, 小川 美登里, ヘーゼルハウス, ヘラト, 五月女 颯	卒業論文執筆に向けて、ディスカッション、発表、個別指導などを行う。テキスト文化学コースは木曜5時限に開講予定。文化創造論コースは随時開講予定。	比較文化学類生に限る。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AC67082	文化科学領域卒業論文基礎演習I	2	1.0	3	春AB	随時	廣瀬 浩司, 濱田真, 対馬 美千子, 白戸 健一郎, 山口 恵里子, 海後 宗男, 山口 有梨沙	文化科学領域の卒業論文執筆のための基礎的な能力を習得する。履修にあたっては各領域・コース世話人教員の指示に従うこと。	比較文化学類生に限る。 対面
AC67092	文化科学領域卒業論文基礎演習II	2	1.0	3	秋AB	随時	廣瀬 浩司, 濱田真, 対馬 美千子, 白戸 健一郎, 山口 恵里子, 海後 宗男, 山口 有梨沙	文化科学領域の卒業論文執筆のための基礎的な能力を習得する。履修にあたっては各領域・コース世話人教員の指示に従うこと。	比較文化学類生に限る。 対面
AC67102	思想文化領域卒業論文基礎演習I	2	1.0	3	春AB	応談	橋本 康二, 嚴 錫仁, 井川 義次, 木村 武史, 平野 貴大, 太田 紘史	卒業論文作成のため、主指導教員、副指導教員を中心に、随時、基礎的な指導を行なう。履修にあたっては各領域・コース世話人教員の指示に従うこと。	比較文化学類生に限る。 対面
AC67112	思想文化領域卒業論文基礎演習II	2	1.0	3	秋AB	応談	橋本 康二, 嚴 錫仁, 井川 義次, 木村 武史, 平野 貴大, 太田 紘史	卒業論文作成のため、主指導教員、副指導教員を中心に、随時、基礎的な指導を行なう。履修にあたっては各領域・コース世話人教員の指示に従うこと。	比較文化学類生に限る。 対面

専門科目 (卒業論文)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AC70002	卒業論文演習	2	3.0	4	春ABC	随時	比較文化学類関係教員	卒業論文に関する指導を行う。	9月卒業予定者対象。 対面
AC70012	卒業論文演習	2	3.0	4	秋ABC	随時	比較文化学類関係教員	卒業論文に関する指導を行う。	3月卒業予定者対象。 対面
AC70028	卒業論文	8	6.0	4	春ABC	随時	比較文化学類関係教員	卒業論文を作成する。	9月卒業予定者対象。 対面
AC70038	卒業論文	8	6.0	4	秋ABC	随時	比較文化学類関係教員	卒業論文を作成する。	3月卒業予定者対象。 対面